



2024年12月期 通期決算説明資料

2025年2月

株式会社スポーツフィールド
(コード番号：7080東証グロース)

1 | サマリー

2 | 2024年12月期 通期決算概要

- 新卒者向けイベント事業
- 新卒者向け人財紹介事業
- 既卒者向け人財紹介事業
- その他事業

3 | 2025年12月期 通期業績予想及び配当予想

4 | トピックス

5 | APPENDIX

- 主要3事業（新卒者向けイベント事業・新卒者向け人財紹介事業・既卒者向け人財紹介事業）で通期過去最高の売上となった。経常利益は8.7億円で過去最高額となり、高水準を維持した。なお、当期純利益は法人税等調整額の増加のため減益となった
- 第4四半期（10月-12月）は、新卒者向けイベント事業の売上高は過去最高を更新。新卒者向け人財紹介事業は前年同期実績を上回り、既卒者向け人財紹介事業は前年同期実績を下回った
- 2024年12月期の年間配当金は、16.0円（前回予想から変更なし）
- 2025年通期業績予想は、売上高は43.2億円（2024年比+12.5%）を見込む。各段階利益は過去最高を更新し、経常利益は10億円（経常利益率23.1%）を見込む



2024年12月期 通期決算概要

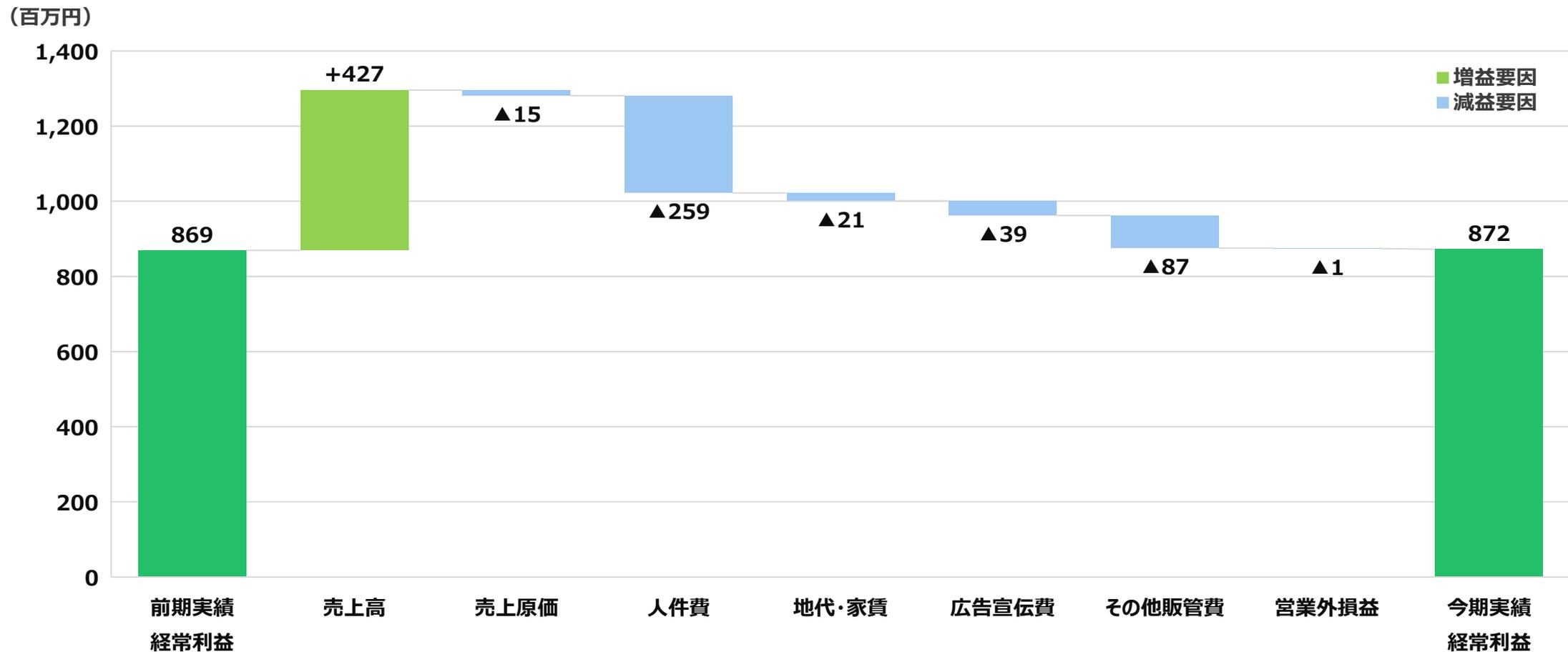
2024年12月期 通期決算概要

(百万円)	通期		前期比	
	2024年12月期	2023年12月期	増減額	増減率
売上高	3,845	3,418	+427	+12.5%
新卒者向けイベント	1,681	1,365	+315	+23.1%
新卒者向け人財紹介	1,064	1,031	+33	+3.2%
既卒者向け人財紹介	962	893	+68	+7.7%
その他売上	136	126	+10	+7.9%
営業利益	874	869	+4	+0.5%
営業利益率	22.7%	25.4%		▲2.7PP
経常利益	872	869	+2	+0.3%
経常利益率	22.7%	25.4%		▲2.7PP
親会社株主帰属当期純利益	595	608	▲12	▲2.1%

- 売上高は主要3事業すべてにおいて過去最高を更新した
- 営業利益、経常利益はともに過去最高となった。利益率は、費用増により低下したものの20%を上回る高水準を維持

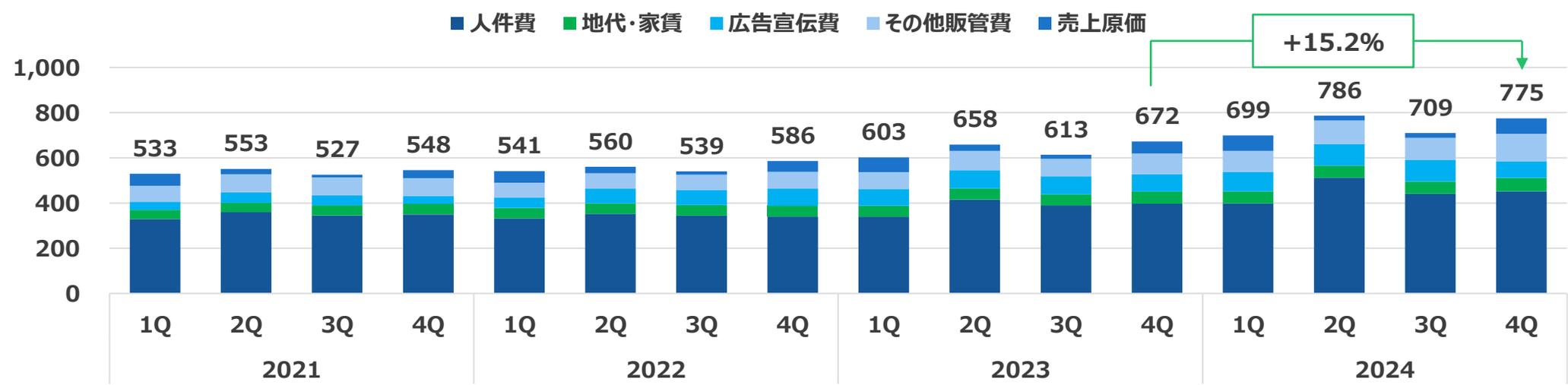
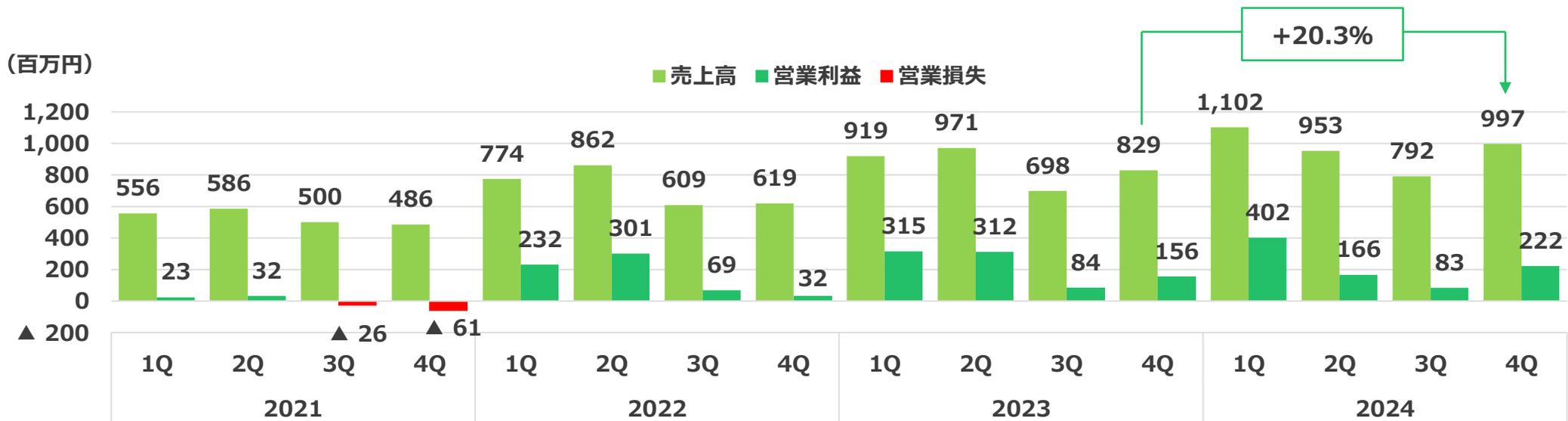
通期決算 対前期比 経常利益増減要因

- 売上高は427百万円の増加
- 売上原価は、派遣労務費が減少したものの、イベント関連費用が増額したことにより増加
- 人件費は、人員体制強化のための新卒採用社員・中途採用社員の入社により増加
- 地代・家賃は、大阪オフィスの増床により増加
- 広告宣伝費は、スポチャレ・スポナビキャリア及びスポジョバ等の更なる登録者獲得のため増加
- その他販管費は、社内システム投資及び人員増に伴う諸費用により増加



四半期別業績推移と季節変動について

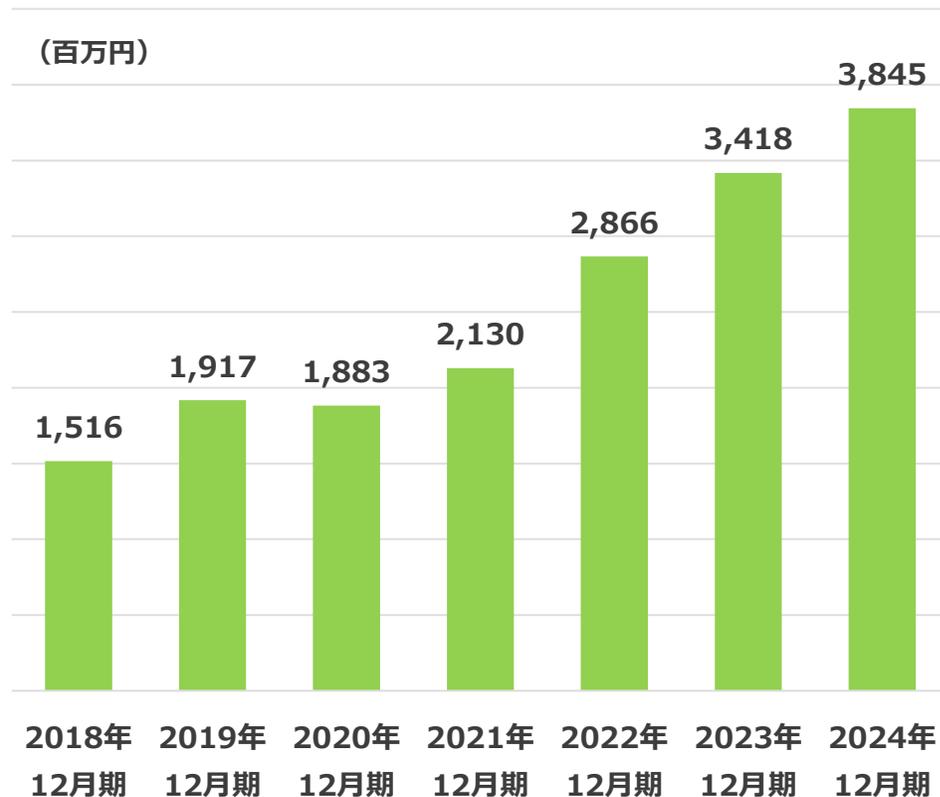
- 売上高、営業利益ともに前年同期実績を上回った
- 費用は人員体制の強化・登録者獲得のための広告投資・社内システムへの投資など、成長に向けた投資により増加



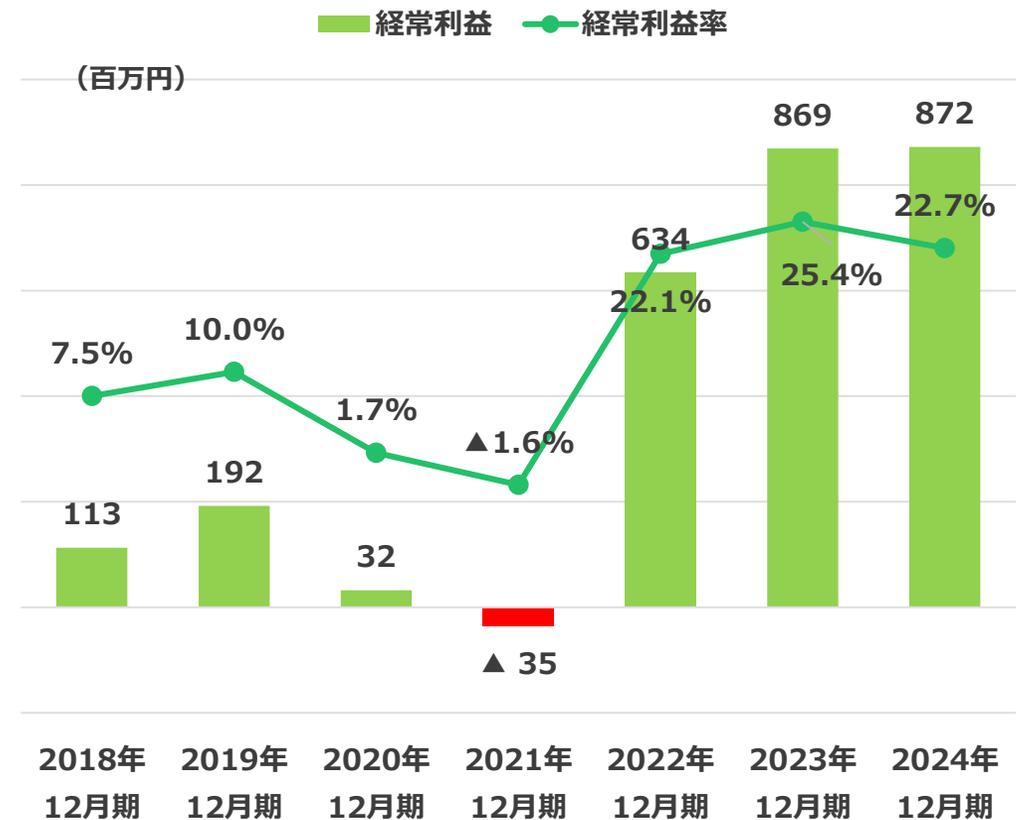
業績の推移

- 売上高の5年間（2019年－2024年）の年平均成長率は14.9%。新型コロナウイルス感染拡大による成長停滞から成長軌道に回帰し、直近3年間（2021年－2024年）は21.8%
- 経常利益、経常利益率ともに、新型コロナウイルス感染拡大による落ち込みから、V字回復。新型コロナウイルス感染拡大以前と比較しても大きく水準を切り上げ、経常利益は過去最高を更新、経常利益率は20%を超え、高水準を維持

売上高



経常利益・経常利益率

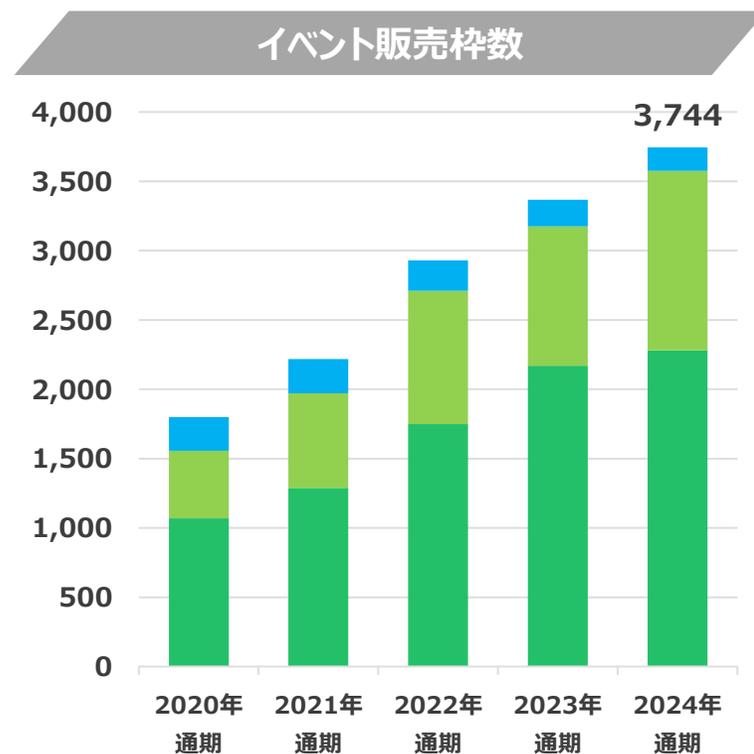
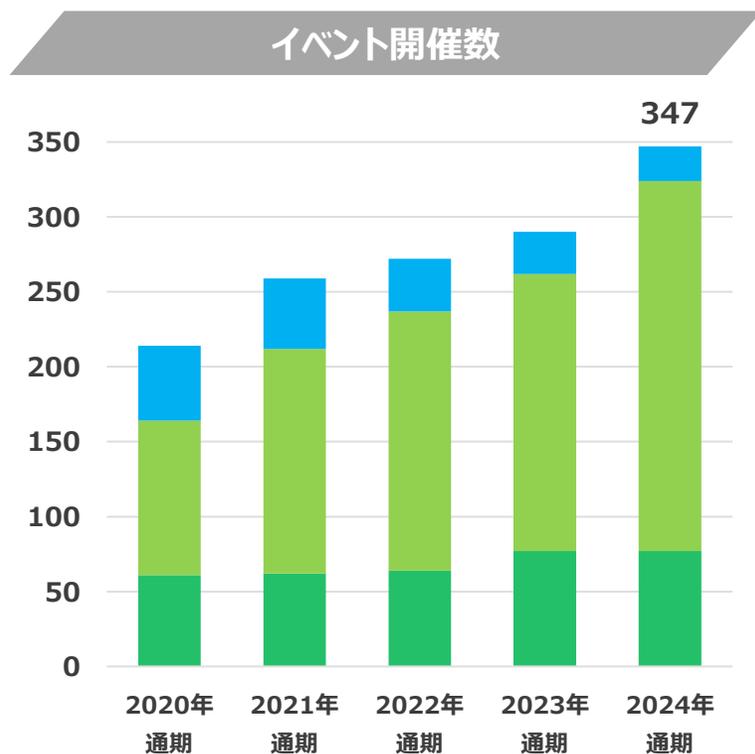




新卒者向けイベント事業 新卒者向け人財紹介事業

2024年12月期 通期決算：新卒者向けイベント事業

- 売上高1,681百万円 前期比+23.1%
- イベント開催数は、企業のイベント出展ニーズを取り込み、来場型・中小規模イベントの開催数が前期実績を上回った
- 販売枠数は、企業のイベント出展ニーズが強く前期実績を上回った。来場型・中小規模イベントの販売枠数が増加
- 2026年3月卒向けイベントの受注金額（出展料）は、前年同期比+22.4%と好調



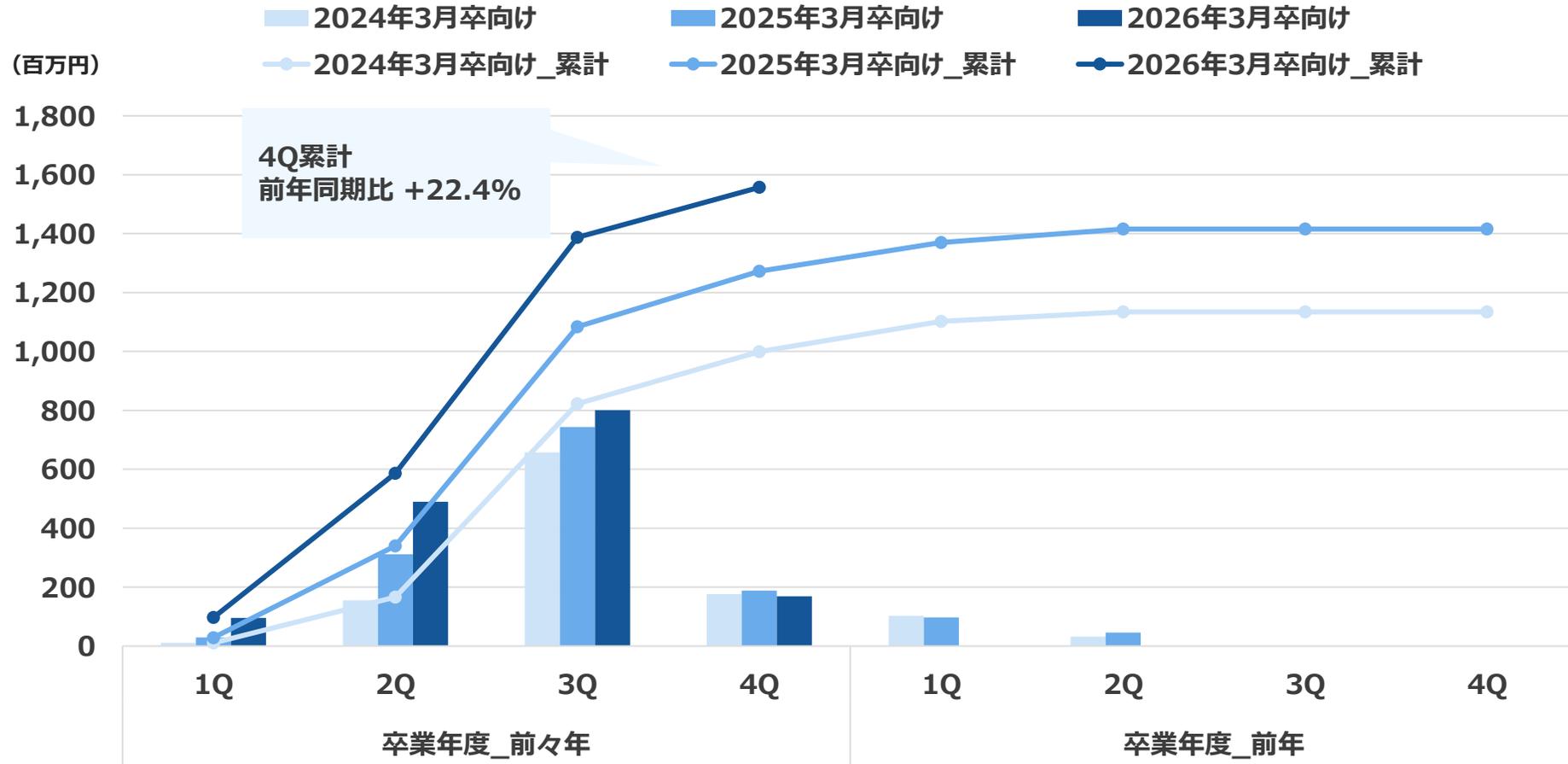
- 来場型・大規模
- 来場型・中小規模
- オンライン型

2020年実績：2021年卒・2022年卒向け | 2021年実績：2022年卒・2023年卒向け
 2022年実績：2023年卒・2024年卒向け | 2023年実績：2024年卒・2025年卒向け | 2024年実績：2025年卒・2026年卒向け
スポナビのみ、スポチャレのイベントは含まず

(参考) 新卒者向けイベント事業：受注金額の受注期別推移

受注金額の受注期別推移

スポンビ：出展料のみ

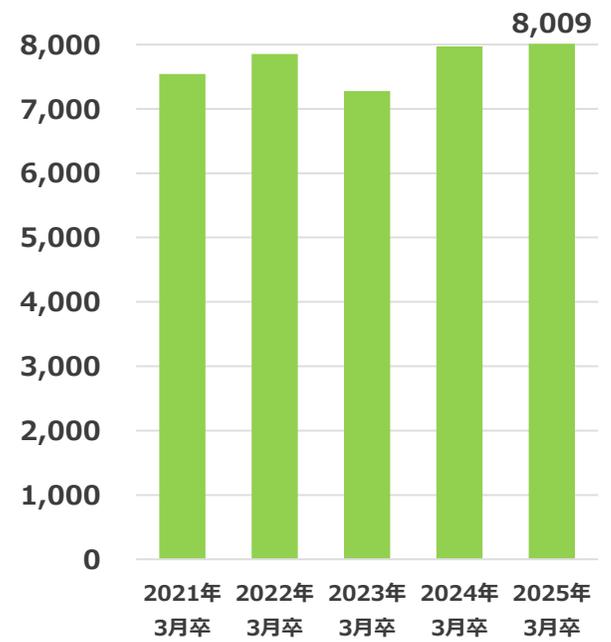


上記受注金額は、イベント開催月に売上計上
2024年3月卒向けイベント：2022年2Q～2023年3Q
2025年3月卒向けイベント：2023年2Q～2024年3Q
2026年3月卒向けイベント：2024年2Q～2025年3Q

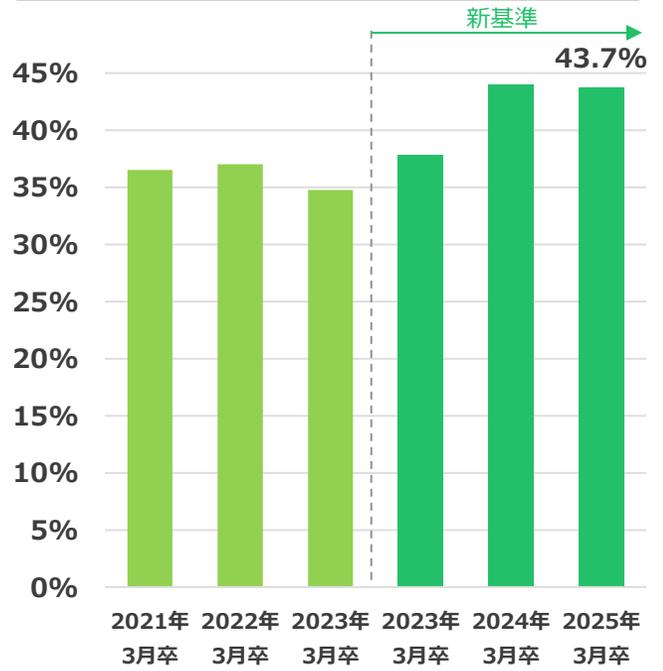
2024年12月期 通期決算：新卒者向け人財紹介事業

- 売上高1,064百万円 前期比+3.2% (うち スポチャレ売上高 232百万円)
- 2025年3月卒ユニーク紹介学生数は、前期比で微増
- ユニーク紹介企業数は、企業の旺盛な新卒採用ニーズを取り込み、前期実績を上回った
- スポチャレの成長が売上の増加に寄与 (前期比+43.2%)

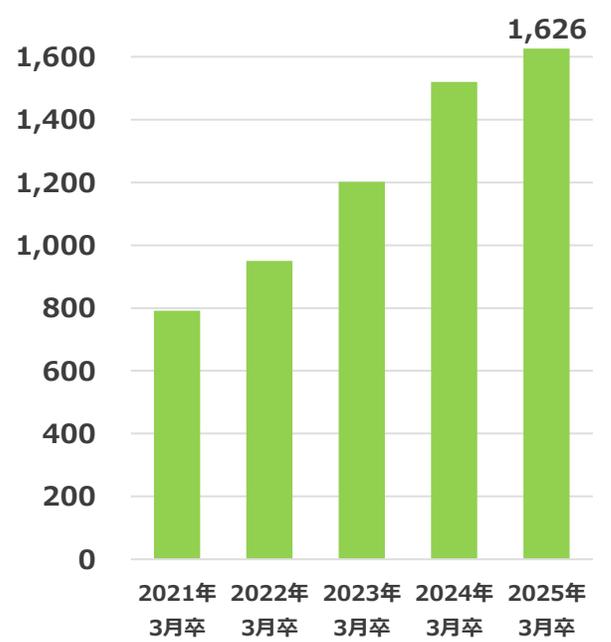
ユニーク紹介学生数



カバー率



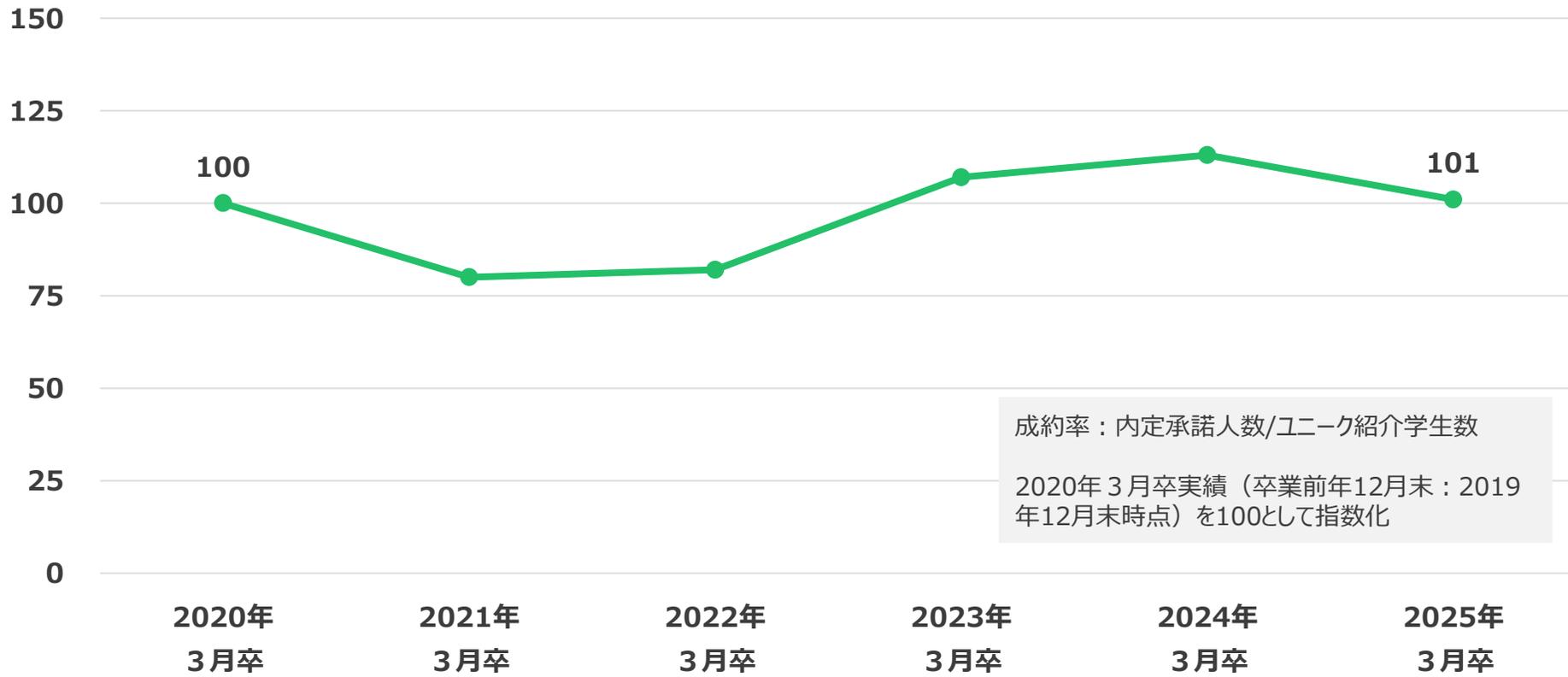
ユニーク紹介企業数



*KPI 第4四半期 (卒業前年12月末) 時点実績 スポナビのみ (スポチャレは含まない)
 *ユニーク紹介学生数：企業に紹介した重複しない学生数 | ユニーク紹介企業数：学生に紹介した重複しない企業数
 *カバー率：登録者の内、面談対応により、アナログな関係が構築できている登録者の比率 (算出方法：ユニーク紹介学生数/スポナビ登録者数)
 *スポナビ2024登録者数の開示数値は、2025年以降卒業学生等を含む全登録者数から、2023年12月期において企業への紹介対象となる2024年3月卒学生のみ登録者数に変更

(参考) 新卒者向け人財紹介事業：成約率

成約率の推移



成約率：内定承諾人数/ユニーク紹介学生数
2020年3月卒実績（卒業前年12月末：2019年12月末時点）を100として指数化

*KPI 第4四半期（卒業前年12月末）時点実績 スポナビのみ（スポチャレは含まない）
*ユニーク紹介学生数：企業に紹介した重複しない学生数

スポナビ 登録者数推移

- 2024年12月末時点で、2025年3月卒登録者数は2024年3月卒登録者に対して前期比で微増
- 2026年3月卒については、登録者数の再拡大にむけて人員体制を強化。足元では2025年3月卒の前期実績を上回って推移
- スポンサーサービスにより体育会部活動との接点を強化し、新規登録者獲得を目指す

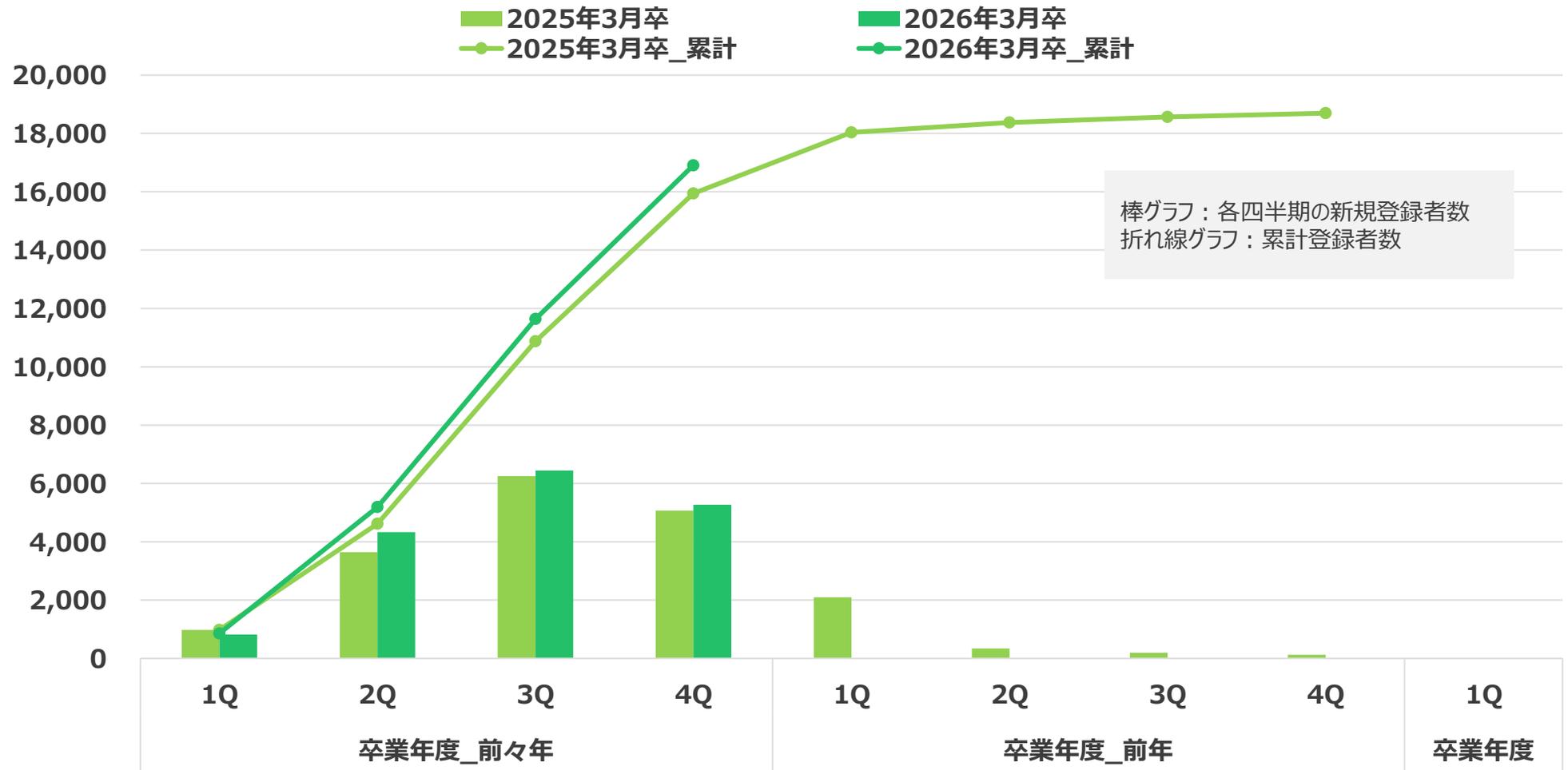
スポナビ 登録者数推移



*スポナビ2024登録者数の開示数値は、2025年以降卒業学生等を含む全登録者数から、2023年12月期において企業への紹介対象となる2024年3月卒学生のみ登録者数に変更

(参考) 2026年3月卒 新規登録者数 四半期別推移

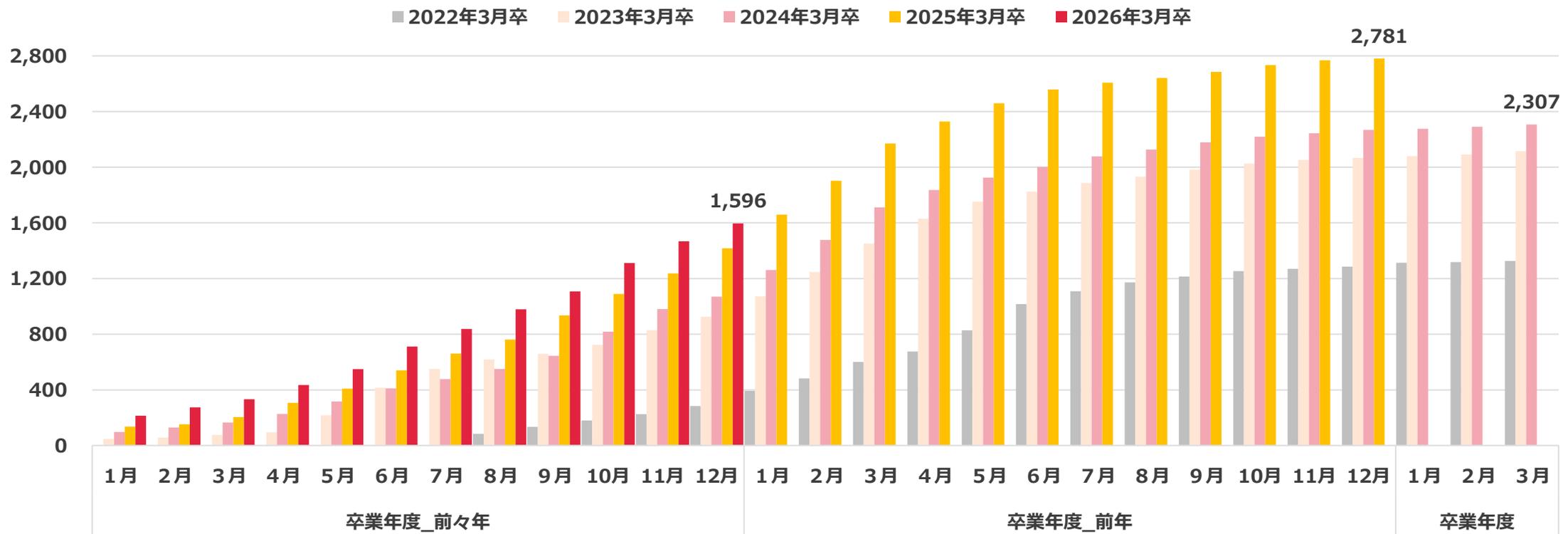
新規登録者数(スポナビ、スポナビエージェント合算) 四半期別推移



スポチャレ 進捗状況

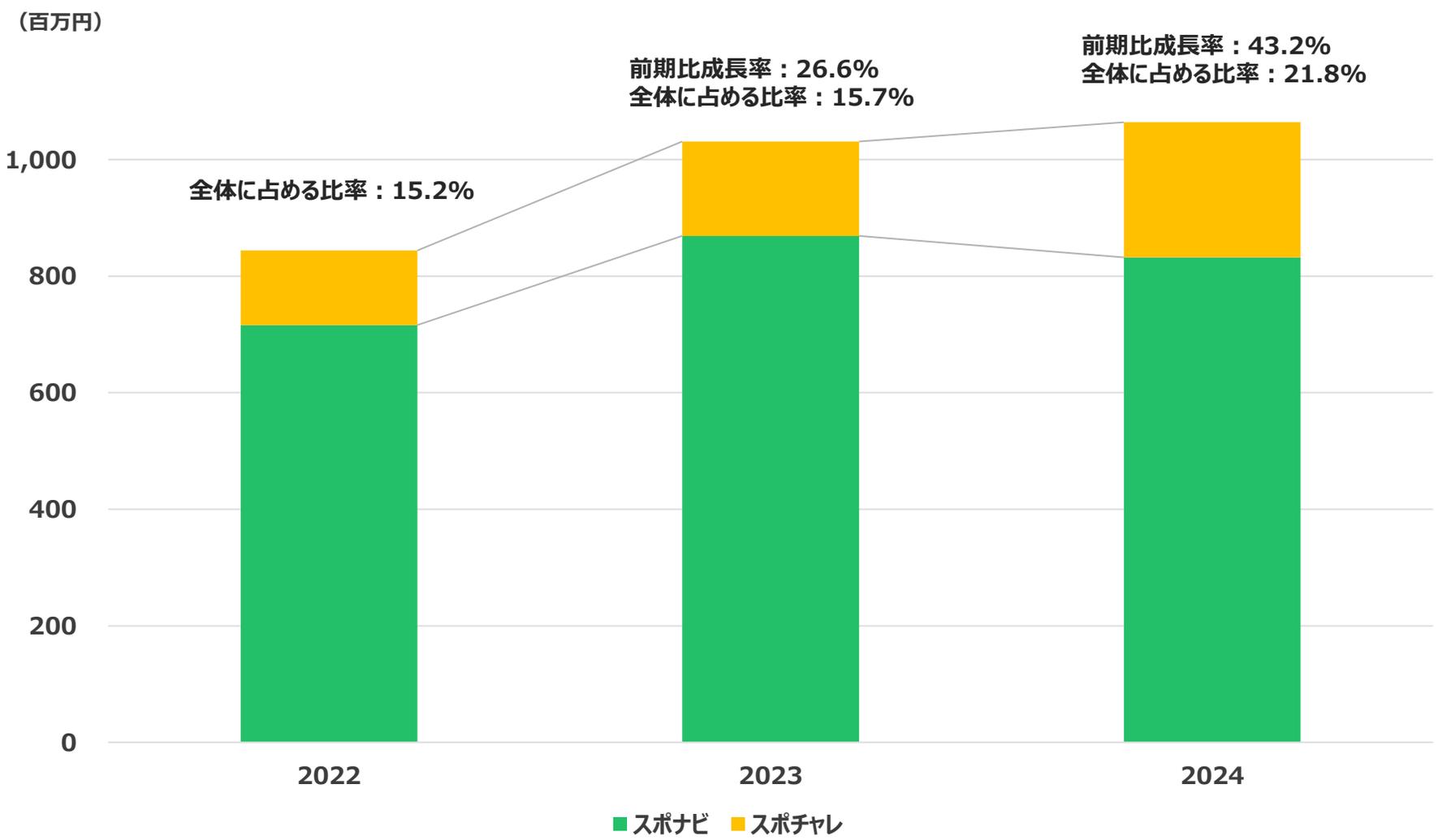
- 2025年3月卒学生向けスポチャレ累計登録者数は、2024年12月末時点で2,781人。2024年3月卒学生の前年同期実績を上回る推移（前期比+22.6%）
- 2026年3月卒学生向けスポチャレ累計登録者数は、2024年12月末時点で1,596人。2025年3月卒学生の前年同期実績を上回る推移（前期比+12.6%）

スポチャレ 累計登録者数推移



(参考) スポチャレ：前期比成長率

通期実績

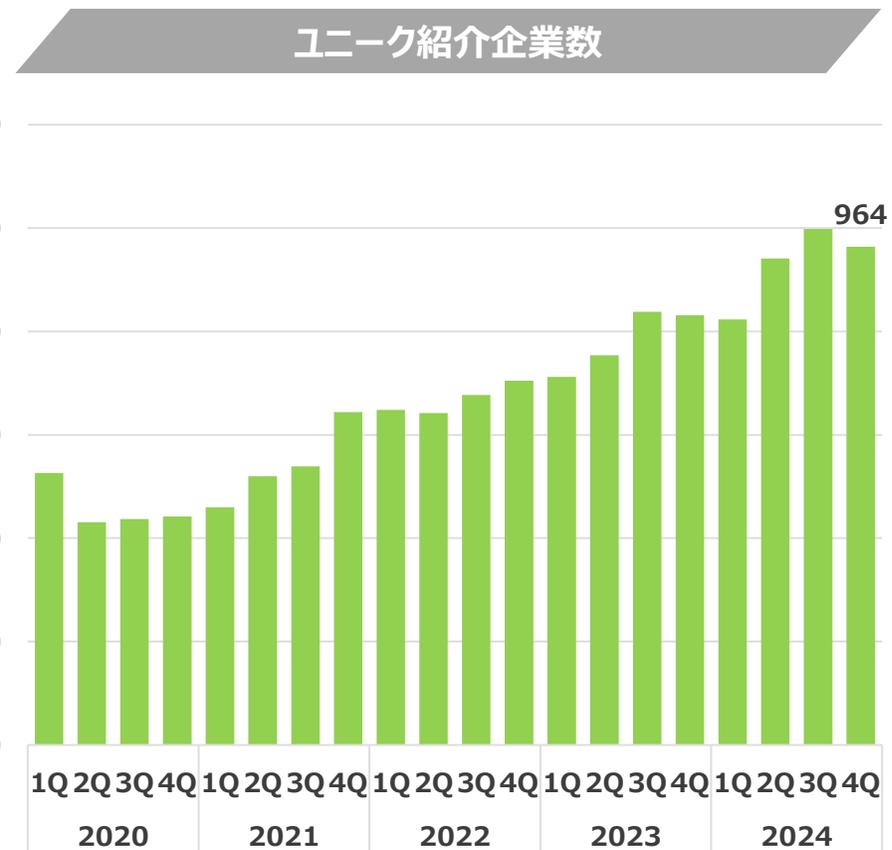
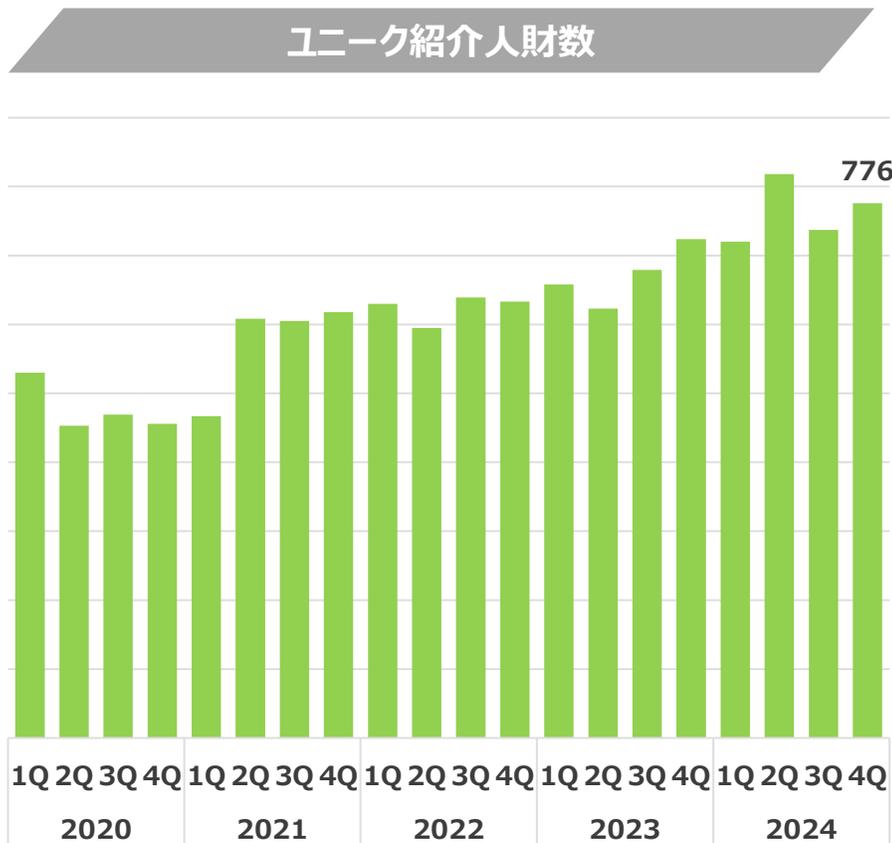




既卒者向け人財紹介事業

2024年12月期 通期決算：既卒者向け人財紹介事業

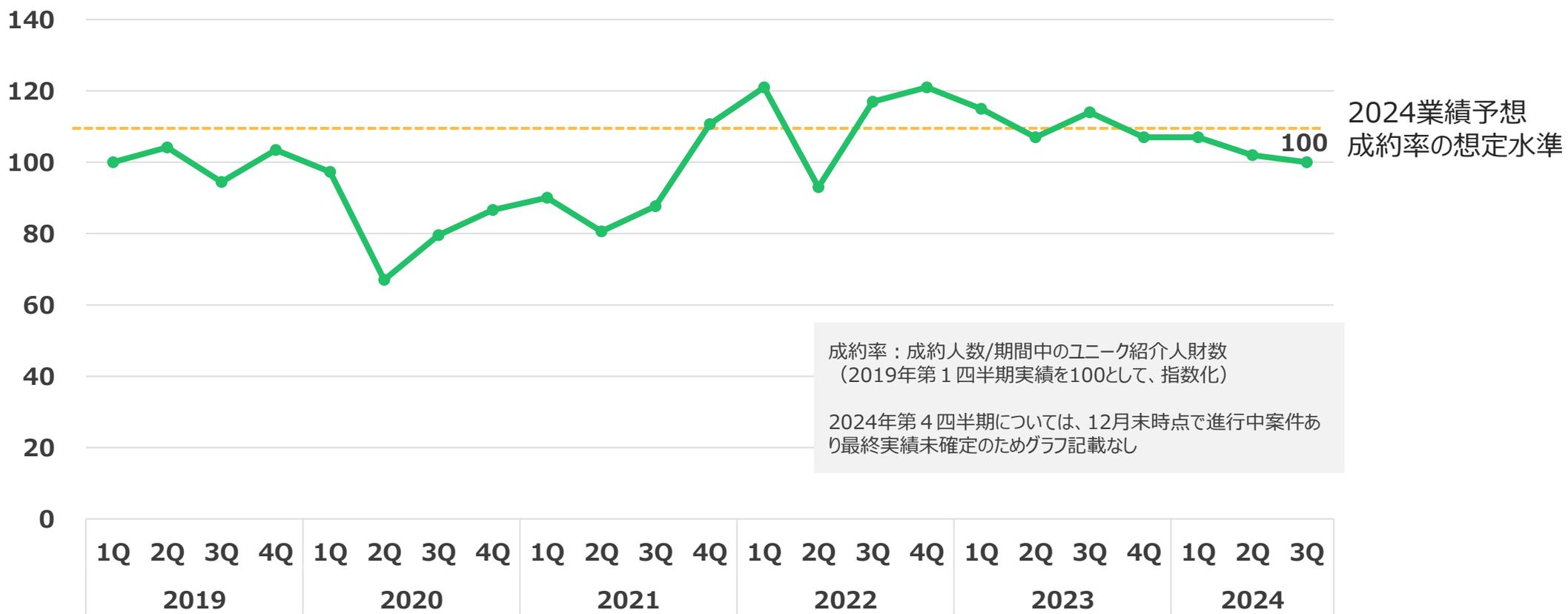
- 売上高962百万円 前期比+7.7%
- 売上高は企業の採用需要が引き続き底堅く、過去最高を更新
- ユニーク紹介人財数、ユニーク紹介企業数はともに前年同期実績を上回った
- スポーツ関連企業に特化した就職・転職情報サイト「スポジョバ」からの人財紹介案件の成約が売上高に寄与
- 年間通してユニーク紹介人財数に注力し伸ばすことはできたが、成約率は低下基調となった。マッチングの精度を上げていくことにより改善していく



*ユニーク紹介人財数：企業に紹介した重複しない人財数 | ユニーク紹介企業数：求職者に紹介した重複しない企業数

(参考) 既卒者向け人財紹介事業：成約率

成約率の推移

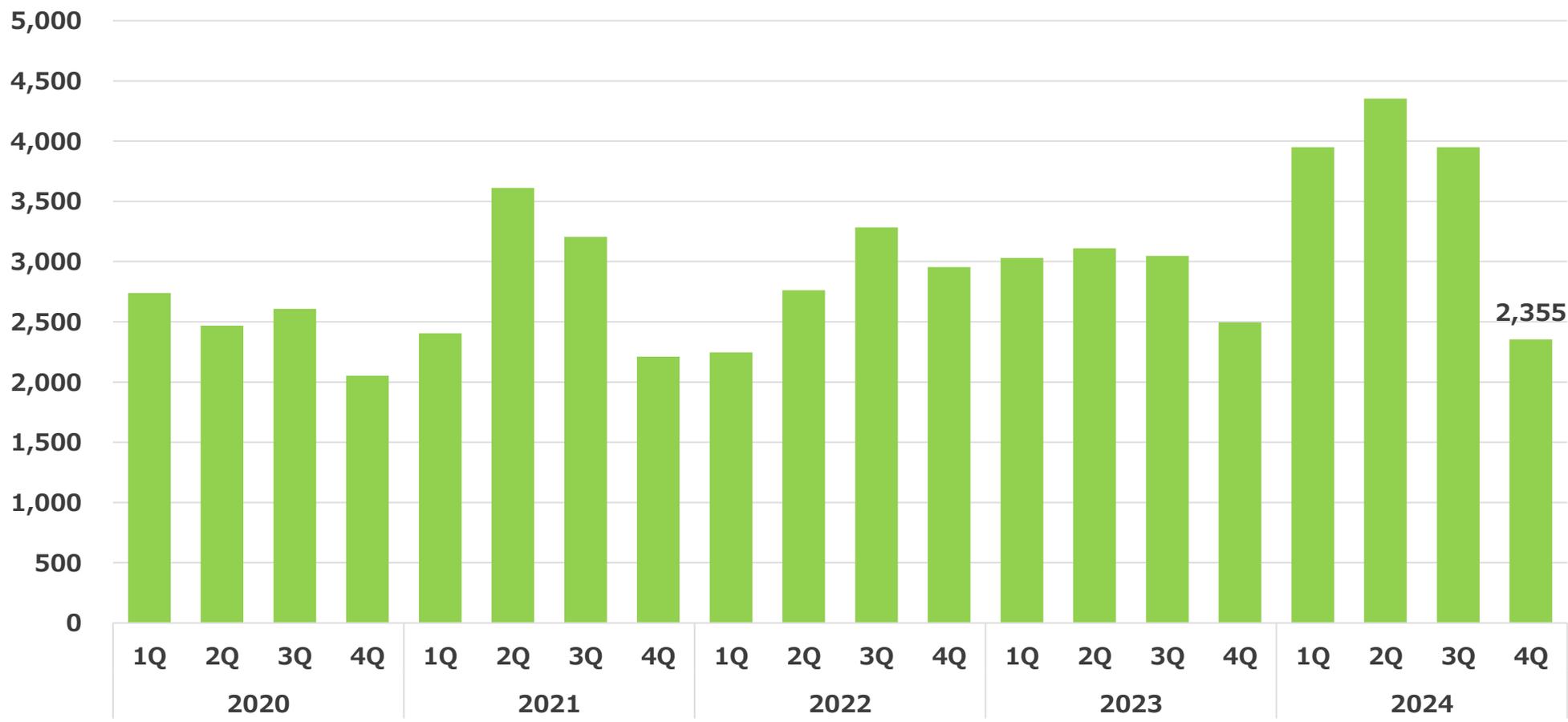


*ユニーク紹介人財数：企業に紹介した重複しない人財数

スポナビキャリア・スポチャレ転職 新規登録者数推移

- 4Qについては前年同期実績を下回った（4Qは例年下降トレンドとなる）
- 2024年通期の新規登録者数は、マーケティング部門の人員強化及び広告宣伝費の投下により、前期実績を上回った

スポナビキャリア・スポチャレ転職 新規登録者数推移



*2020. 4Qまでは、スポナビキャリアのみ 2021. 1Qより スポナビキャリア、スポチャレ転職 合算

B/Sの状況（連結貸借対照表）

- 総資産は2,707百万円となり、前連結会計年度末比+396百万円
 - 負債は944百万円となり、前連結会計年度末比+22百万円
 - 純資産は1,763百万円となり、前連結会計年度末比+374百万円
- 剰余金の配当及び自己株式の取得（1億円の取得上限を設定し、取得が完了）により減少したものの、当期純利益により純増

(百万円)	連結会計年度		前連結会計年度比
	2024年12月期	2023年12月期	増減額
流動資産	2,258	1,939	+318
現金及び預金	1,704	1,467	+236
売掛金	484	424	+59
固定資産	449	371	+78
有形固定資産	217	155	+62
無形固定資産	0	0	▲0
投資その他の資産	231	215	+16
資産合計	2,707	2,310	+396
流動負債	762	701	+61
固定負債	181	220	▲38
負債合計	944	921	+22
純資産	1,763	1,389	+374
負債純資産合計	2,707	2,310	+396

財務上の安定性を保つため引き続き高水準を維持

大阪オフィス増床及び神戸オフィス移転による増加

未払金及び未払費用による増加

長期借入金の返済による減少

剰余金の配当及び自己株式の取得により減少したものの、当期純利益により純増

キャッシュフローの状況

- 営業CFは、税引前当期純利益の創出により、619百万円の資金の増加
- 投資CFは、既存オフィスの増床・移転に伴う投資により、49百万円の資金の減少
- 財務CFは、長期借入金の返済、配当金の支払、自己株式の取得により、322百万円の資金の減少

(百万円)	連結会計年度	
	2024年12月期	2023年12月期
営業CF	619	448
税金等調整前当期純利益	872	869
売上債権増減	▲59	▲111
未払費用増減	15	12
法人税等支払額又は還付額	▲273	▲350
投資CF	▲49	▲68
有形固定資産取得	▲29	▲52
敷金・保証金差入	▲29	▲15
財務CF	▲322	▲371
長期借入金の返済	▲100	▲370
配当金の支払	▲121	—
自己株式の取得	▲100	▲0
現金等増減額	246	9
現金等期末残高	1,704	1,457

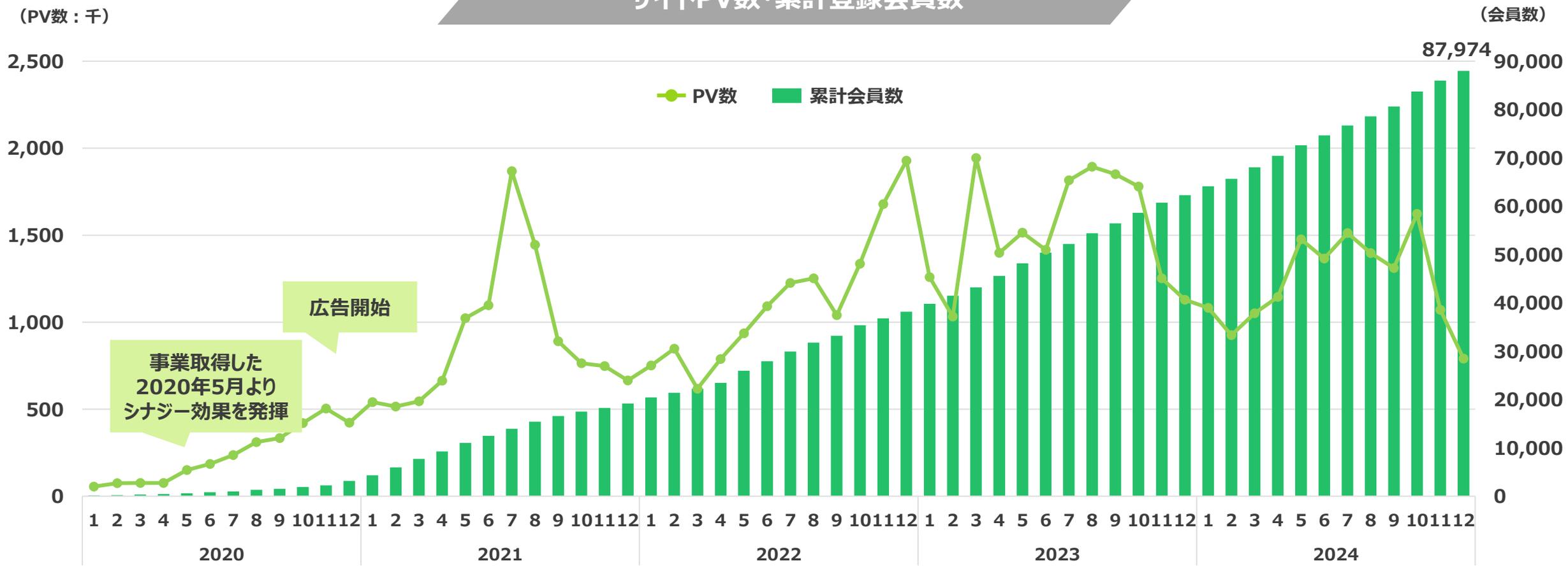


その他事業

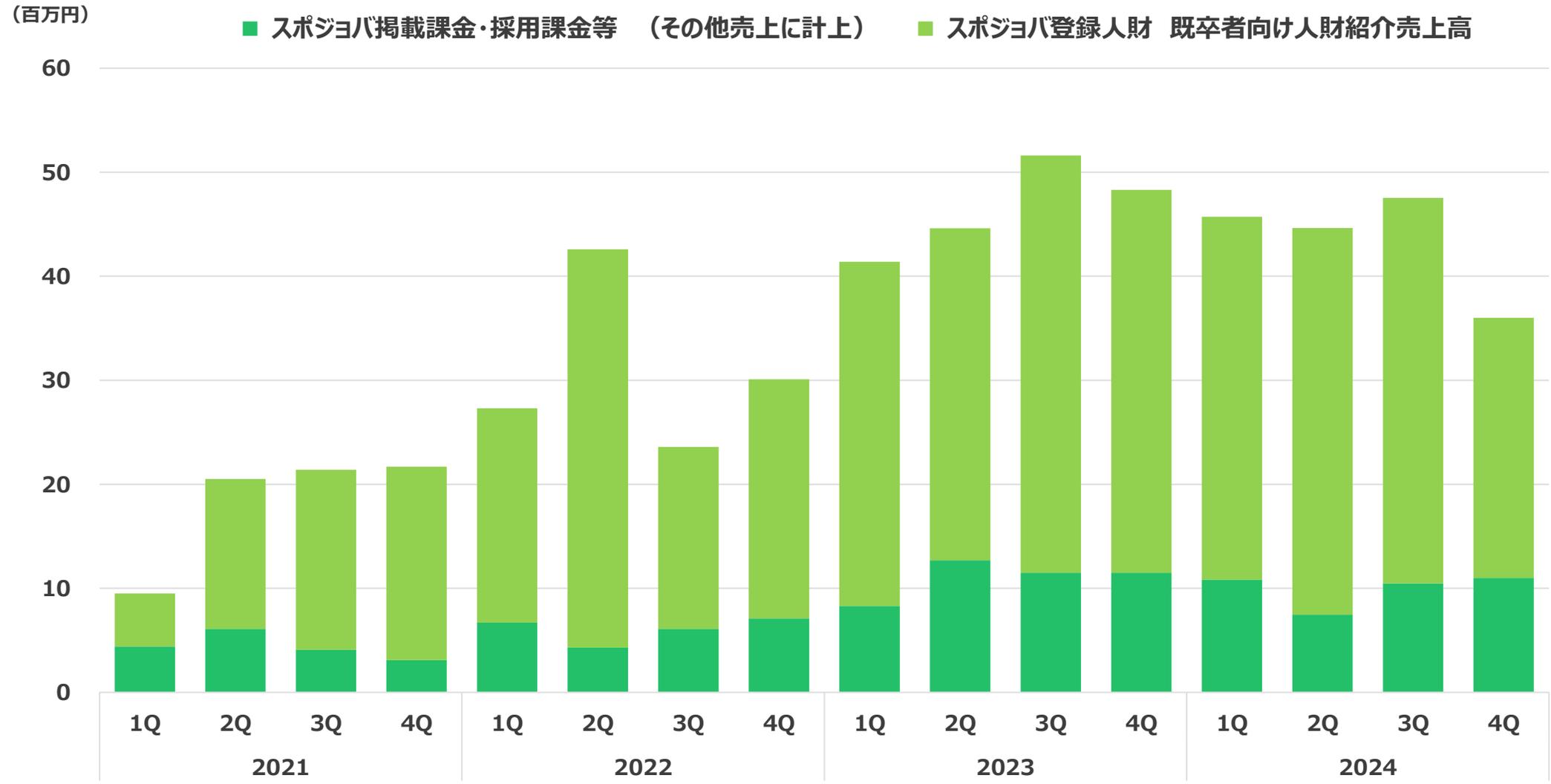
スποジョバ 進捗状況

- 事業を取得した2020年5月以降、既存事業とのシナジー効果を発揮
- 累計会員数は8万人を突破し順調に増加
- スポジョバ登録人財からの既卒人財紹介案件への成約が、既卒者向け人財紹介事業の売上の増加に寄与
- SEO対策により、ターゲット層に合った質の高いPVは増加
- コアコンテンツであるスポーツ系求人への拡大を軸に人員体制を強化し、更なる成長を図る

サイトPV数・累計登録会員数

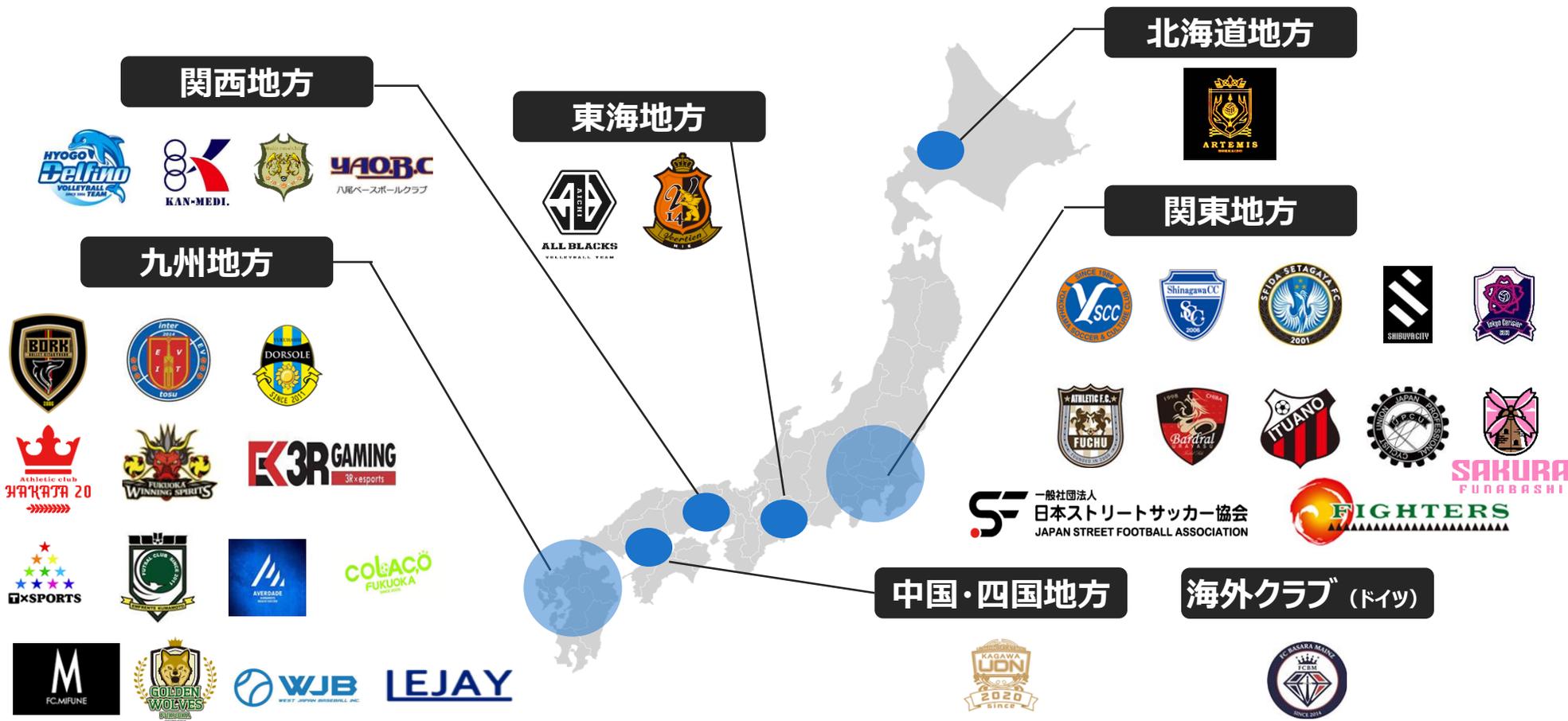


(参考) スポジョバ 四半期別売上高推移



スポナビアスリート（デュアルキャリア）進捗状況

- 就労形態は正社員・契約社員、派遣、業務委託を、双方のニーズに合わせて使い分け
- 契約締結チーム数は累計で78チーム、支援選手数は延べ1,099選手(2024年12月末時点)
- 契約締結チームとの連携により、支援選手においては既卒人財紹介・人財派遣案件への成約に寄与



*契約締結チーム数、支援選手数はサービス開示（2018年10月）からの累計
 *上記は代表的な契約締結チームの一部を掲載



2024年12月期 通期業績予想 及び配当予想

2025年12月期 通期業績予想サマリー

売上高	4,327百万円	前期比+482百万円
営業利益	1,001百万円	前期比+127百万円
経常利益	1,000百万円	前期比+127百万円
親会社株主に帰属する 当期純利益	650百万円	前期比+54百万円

- 売上高は、前期に続き、過去最高の売上高を見込む
- 営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は、過去最高を見込む
- 配当予想は、配当方針にそって配当性向 20%を基準として1株当たり17円（年間）とする

*現時点で入手可能な情報に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

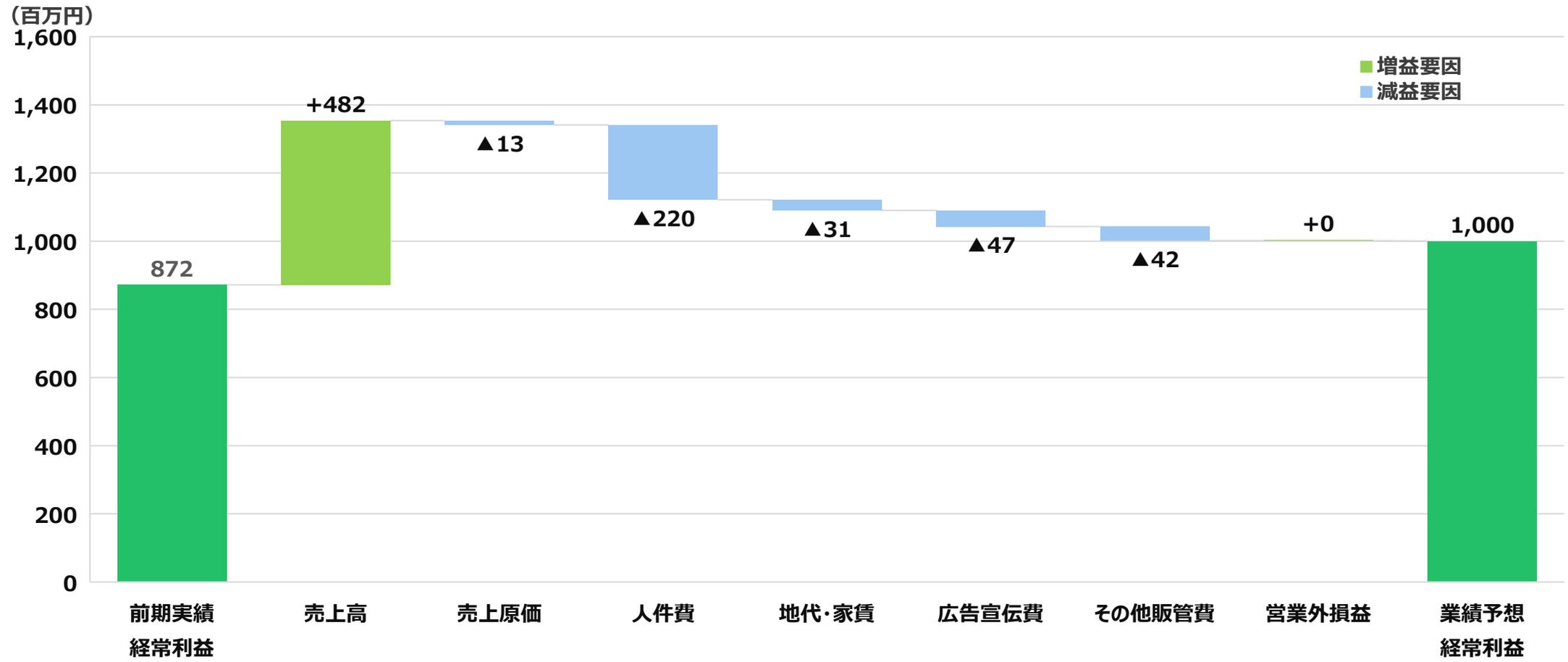
通期業績予想概要

(百万円)	2025年12月期 業績予想	2024年12月期 実績	前期比	
			金額	増減率
売上高	4,327	3,845	+482	+12.5%
新卒者向けイベント	1,864	1,681	+183	+10.9%
新卒者向け人財紹介	1,223	1,064	+158	+14.9%
既卒者向け人財紹介	1,086	962	+124	+13.0%
その他売上	152	136	+15	+11.0%
営業利益	1,001	874	+127	+14.5%
営業利益率	23.1%	22.7%	-	+0.4 PP
経常利益	1,000	872	+127	+14.7%
経常利益率	23.1%	22.7%	-	+0.4 PP
親会社株主帰属当期純利益	650	595	+54	+9.2%

- 売上高は、主要3事業すべてにおいて、過去最高の売上高であった前期実績を上回る
- 新卒者向けイベントは、企業の出展ニーズの早期化対応を継続し、2027年3月卒学生向けイベントの早期提案・受注増を図る
- 新卒者向け人財紹介は、企業・学生の採用・就職活動の早期化に対応し、スポナビ、スポチャレともにユニーク紹介学生数を早期（第1、2四半期）に増加させながら、成約率の向上を図る
- 既卒者向け人財紹介は、スポナビキャリア、スポチャレ転職に加えて、スポジョバ、スポティブなどの複数のルートにより、ユニーク紹介人財数の増加を図る。マッチング精度の向上に取り組み、成約率の改善、成約数の増加を図る
- 費用については、成長のための人員増強により人件費は増加するものの、引き続き筋肉質な経営を目指し、適切なコントロールを行う
- 営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益は、過去最高であった前期実績を更新し、経常利益率は20%台半ばを目線に高水準を維持する

通期業績予想 対前期比 経常利益増減要因

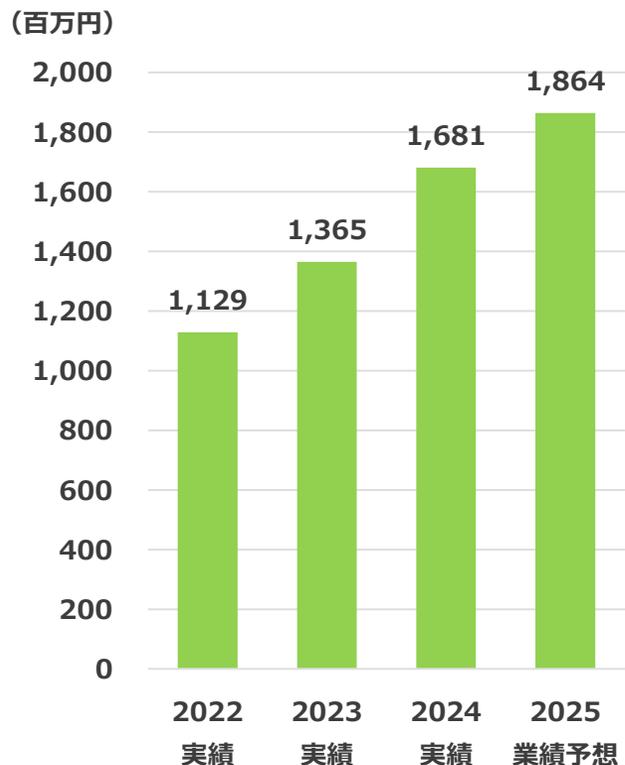
- 売上高は、主要3事業ともに過去最高を更新する
- 売上原価は、イベント開催数の増加にともない、増加する
- 人件費は、人員の増加及び人的資本への投資の継続により増加する見通し
- 広告宣伝費は、広告効率を見極めつつ、登録者増加を図るため増加する
- その他販管費は、社内システム投資及び人員増に伴う諸費用により増加する



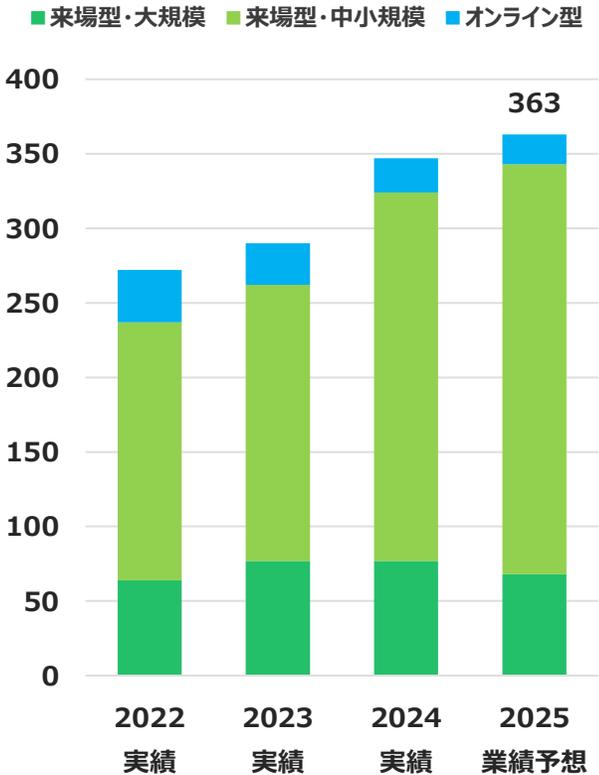
新卒者向けイベント事業

- 売上高1,864百万円 前期比+10.9%
- 2026年4月卒向けイベントの受注進捗が、前年を上回って推移、2025年12月期の売上高の増加に寄与
- 堅調な企業のイベント出展ニーズを見込む。2027年3月卒向けイベントの2025年内の開催数を増加させることで、企業の出展ニーズの早期取り込みを継続する

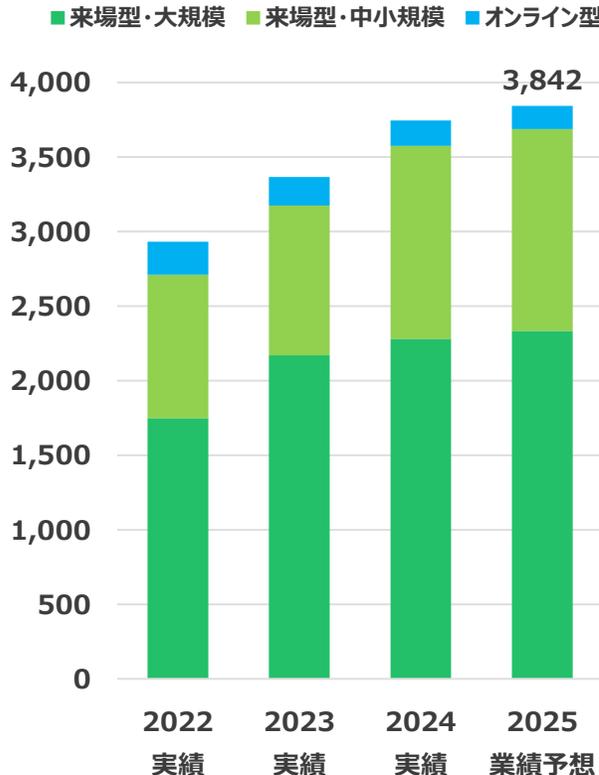
売上高



イベント開催数



イベント種別販売枠数

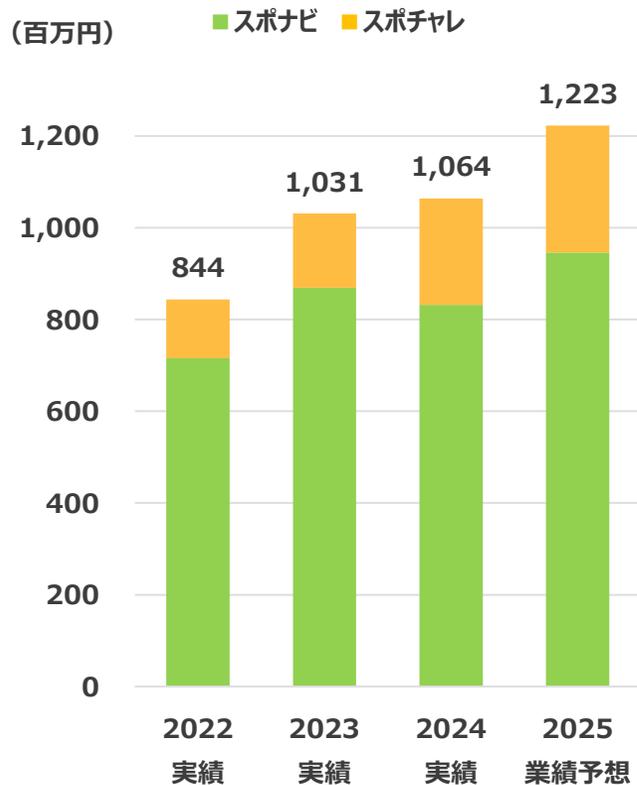


2021年実績：2022年3月卒向け及び2023年3月卒向け
 2022年実績：2023年3月卒向け及び2024年3月卒向け
 2023年実績：2024年3月卒向け及び2025年3月卒向け
 2024年実績：2025年3月卒向け及び2026年3月卒向け
 2025年実績：2026年3月卒向け及び2027年3月卒向け

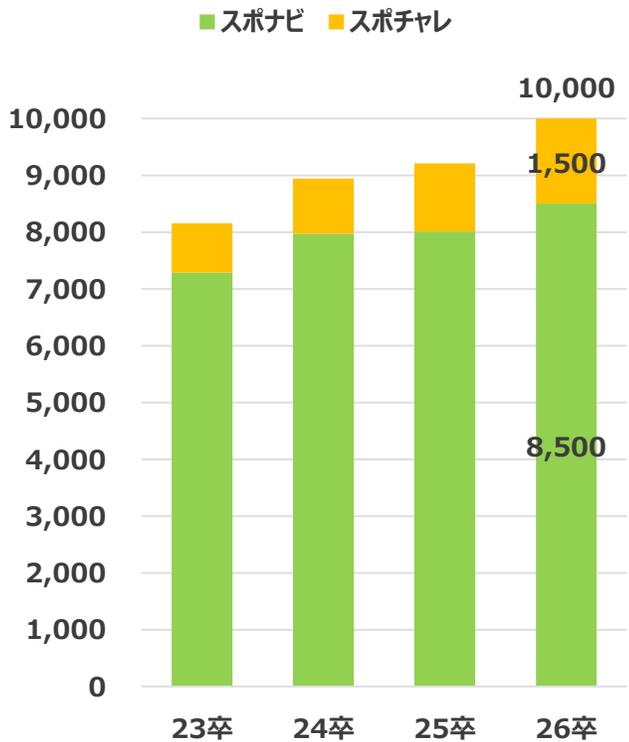
新卒者向け人財紹介事業

- 売上高1,223百万円 前期比+14.9% (うちスポチャレ売上高 277百万円)
- スポンサーサービスやキャリア講座等の活用を通して、早期からの接点を強化し、新規登録者の獲得を図る
- カバー率の向上により、ユニーク紹介学生数の増加を図る。特に第1・2四半期で前年同期実績を上回るよう注力する
- ユニーク紹介企業数の増加が、内定承諾率向上への重要なファクターであるため、企業向け営業活動の強化・効率化を継続する

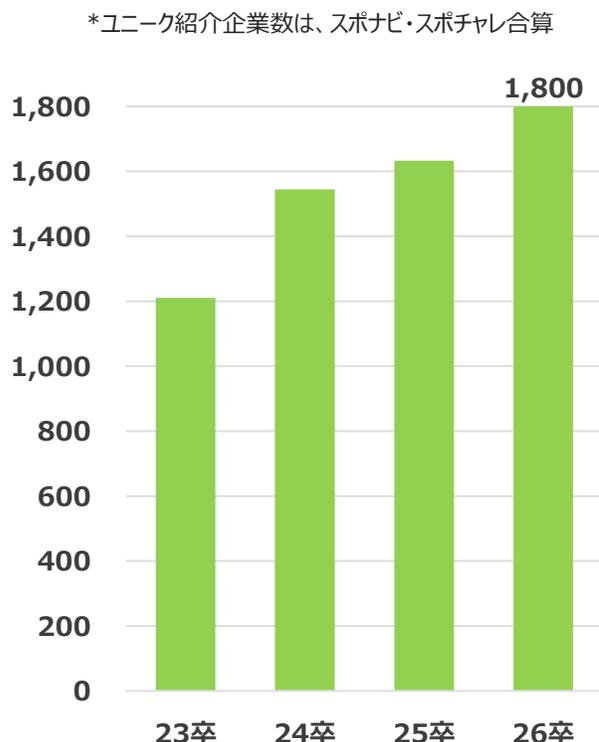
売上高



ユニーク紹介学生数



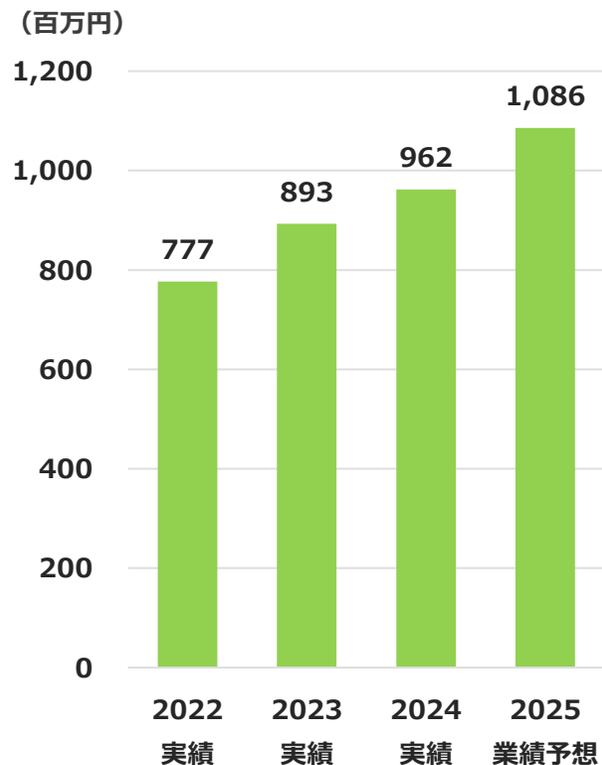
ユニーク紹介企業数



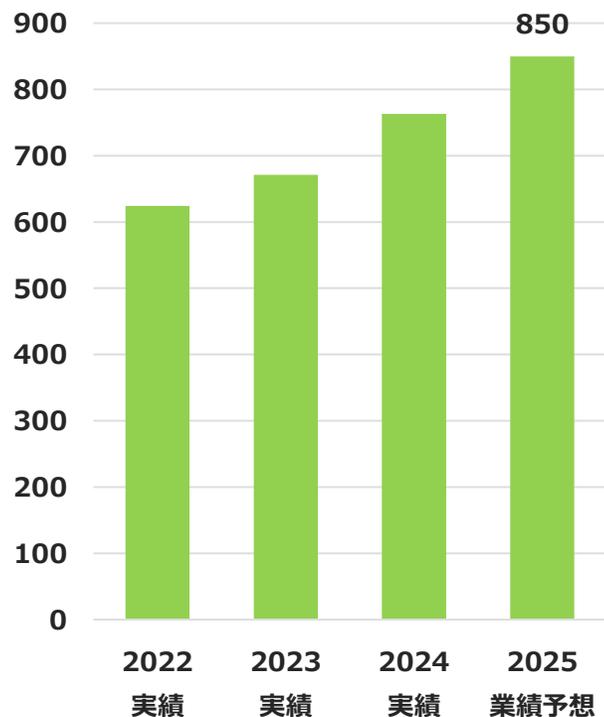
既卒者向け人財紹介事業

- 売上高1,086百万円 前期比+13.0%
- 企業の採用需要の拡大を取り込むため、スポナビキャリア、スポチャレ転職に加えて、スポジョバ、スポティブなどの複数のルートにより、ユニーク紹介人財数の増加を図る
- 営業活動の強化施策（商談数の増加）を継続し、ユニーク紹介企業数の増加を図る
- マッチング精度の向上に取り組み、成約率の改善、成約数の増加を図る

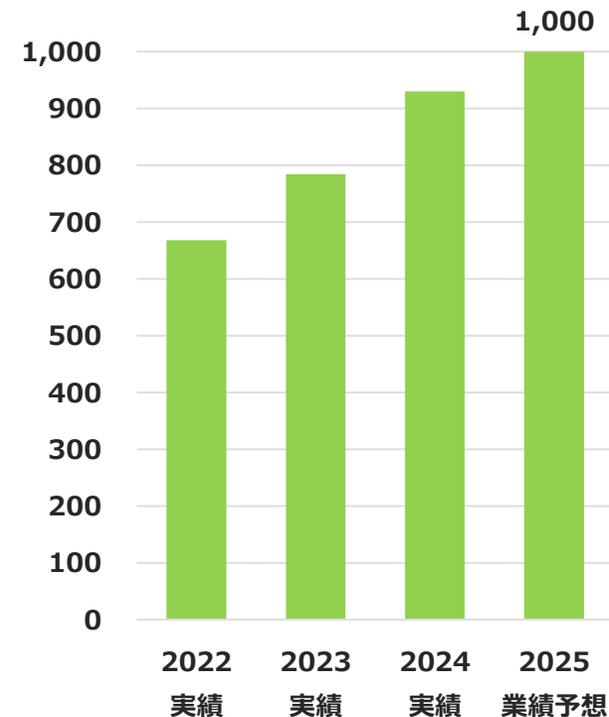
売上高



ユニーク紹介人財数



ユニーク紹介企業数

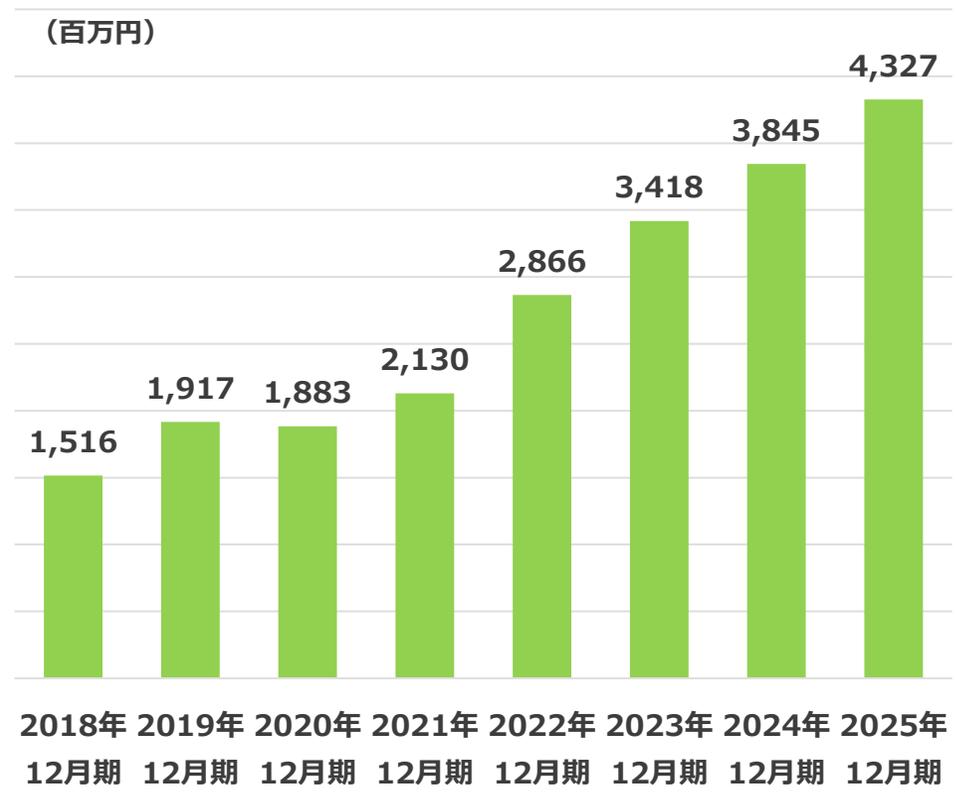


2021年実績：2021年各四半期実績の平均、2022年実績：2022年各四半期実績の平均
2023年実績：2022年各四半期実績の平均 2024年業績予想：各2024年四半期予想の平均

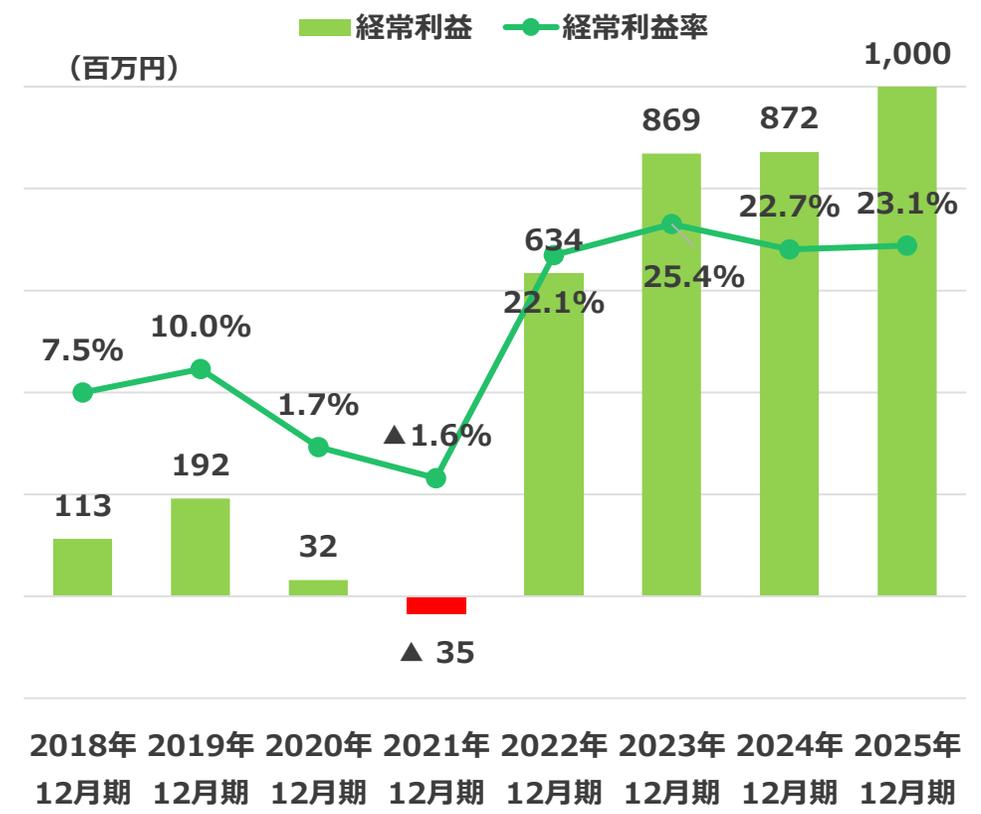
業績の推移の見通し（2025年12月期通期業績予想）

- 売上高の5年間（2020年－2025年）の年平均成長率は18.1%となる見込み。新型コロナウイルス感染拡大による成長停滞から成長軌道に回帰し、4期連続の増収を見込む
- 経常利益は、過去最高だった前期実績を上回る水準を見込む
- 今後、更なる成長にむけての投資を行いつつも、引き続き筋肉質な経営を継続し、経常利益率は20%半ばの水準を維持する

売上高



経常利益・経常利益率



財務運営方針・株主還元

- 事業収益の伸長により営業キャッシュ・フロー創出及び柔軟な負債調達力を維持することで、成長のための事業投資の投下資金を確保し、持続的な成長に向けた資本配分を目指す

2024年12月末 連結貸借対照表

(単位：百万円)

現預金 1,704	有利子負債 159
売掛金 484	その他負債 784
その他資産 518	純資産 1,763

－ 基本方針 －

安定的に事業を継続できるように、キャッシュポジションを高め財務の安全性を確保していく。

具体的には半年分の人件費と経費を賄えるだけ現預金を常に確保するよう努める。

－ 株主還元について －

成長投資を優先的に実施することで1株当たり当期純利益の伸長による中長期的な株価上昇を目指す。

配当等の株主還元施策については、安定的な財務基盤を維持するとともに将来にわたって企業価値を高めるための投資資金を確保しながら、配当性向20%を基準として、継続的かつ安定的な配当を行うことを基本方針とする。

(配当実績)

2023年12月期：16.5円*

2024年12月期：16.0円

2025年12月期：17.0円（予想）

*2024年4月1日付けで普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。
2023年12月期については分割後の金額を記載。



トピックス

トピックス

アスリート支援プログラム 「Athlete Forward」を提供開始



企業とアスリートの接点の拡充

当社と三井住友海上火災保険株式会社、一般社団法人日本アスリート支援協会、株式会社ファーストクラスの4社による、アスリートの競技生活とキャリア形成を地域一体で支援するプログラム。当社はアスリートの就職支援・企業の採用支援を担う。

新サービス「スポンサーサービス」 正式リリース



企業と体育会学生・スポーツ人財の接点の強化

体育会部活動と企業を繋ぎ、学生の競技生活の支援や企業の広報及び採用支援を主な目的とする。本サービスを通して、部活動との接点強化及び新規登録者の獲得を目指す。

大阪オフィス増床



神戸オフィス移転



関西圏の営業体制の強化

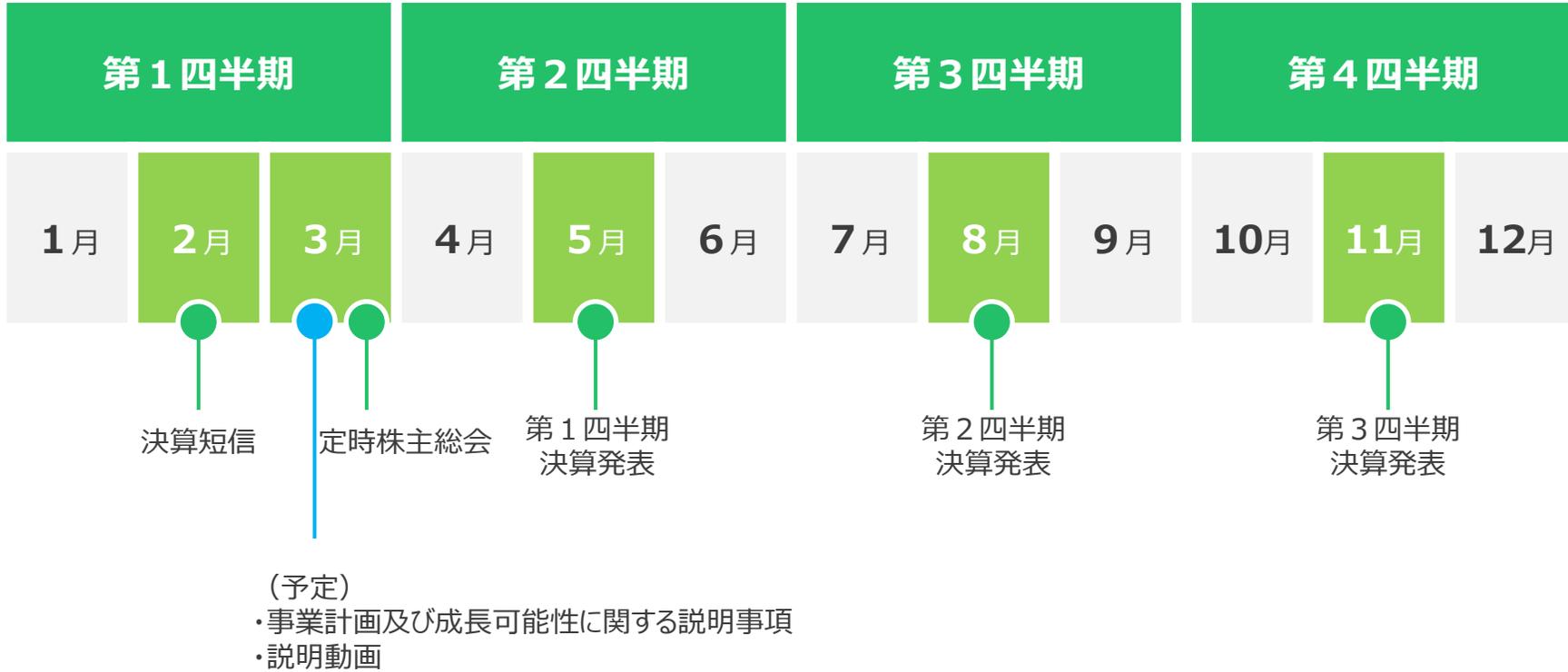
関西エリアの増員・勤務環境の整備。関西圏近隣エリアの企業開拓ならびに体育会学生・スポーツ人財との接点創出を図り、サービスの提供範囲の拡大及び充実を図る。



APPENDIX

IRカレンダー

- 3月中旬を目途に「事業計画及び成長可能性に関する説明事項」に加え、「説明動画」を配信する予定です



(注) 都合により予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

会社概要

社名	株式会社スポーツフィールド			
代表者	代表取締役 篠崎 克志			
設立年月日	2010年1月			
本社所在地	東京都新宿区市谷本村町3-29FORECAST市ヶ谷4F			
資本金	93,650千円（2024年12月末現在）			
役員構成	代表取締役	篠崎克志	取締役(社外)	小林明彦
	取締役副社長	伊地知和義	取締役(社外)	河村直人
	専務取締役	加地正	常勤監査役(社外)	大隅靖朗
	専務取締役	森本翔太	監査役(社外)	山本憲司
			監査役(社外)	田島潤一郎
事業内容	新卒事業部門：イベント事業、人財紹介事業 中途事業部門：人財紹介事業			
売上規模	3,845,234（千円）〔2024年12月期〕			
従業員数	297名（連結：2024年12月末現在）			
拠点	東京本社、札幌オフィス、仙台オフィス、千葉オフィス、横浜オフィス、東海オフィス、京都オフィス、大阪オフィス、神戸オフィス、岡山オフィス、広島オフィス、九州オフィスの12拠点 + 7サテライトオフィス			
総資産	2,707,672（千円）〔2024年12月末〕			

経営理念

全従業員の物心両面の幸福を追求すると同時に
スポーツが持つ可能性を様々な**フィールド**で発揮し、
 個人、法人、地域社会そして日本の発展に貢献すること

行動指針

- | | |
|--|--|
| <p>1 カスタマーファーストCUSTOMERFIRST
 常にお客様の立場で誠実且つスピードある行動をし、満足ではなく、感動するサービスを提供する。</p> | <p>6 感謝の念・感情移入APPRECIATION
 常に感謝の気持ちを持ち、相手以上に相手のことを考え、行動する。</p> |
| <p>2 プロ意識PROFESSIONALISM
 目的、目標を達成する強烈な意志を持ち、結果・成果で応えられるよう、弛まぬ努力を行う。</p> | <p>7 人間力HUMANPOWER
 人に目指される存在であり、人に影響を与える人財になる。</p> |
| <p>3 ブレイクスルーBREAKTHROUGH
 思考を止めず、考え抜く。考え抜けば必ず道はできる。飛び越えられない壁はない。</p> | <p>8 主体性INDEPENDENCE
 人生は自分が主役。自分が誇れる生き方をしよう。</p> |
| <p>4 チームワークTEAMWORK
 One for All, All for Oneの精神を持つ。</p> | <p>9 自己研鑽SELFIMPROVEMENT
 チャンスは常に自己を磨き続けている人しか選んでくれない。</p> |
| <p>5 信頼TRUST
 人を信用しなければ、人から信用されることはない。まずは信用することから始めよう。</p> | <p>10 挑戦CHALLENGE
 人生は一度。自分の可能性を信じ、常に夢、目標に向かい、情熱を持ち挑戦し続ける。</p> |

“スポーツ”には無限の価値と可能性がある

スポーツ人財*との
アナログな関係性を付加価値に変え、
就職・転職支援を全国展開する人財メーカー

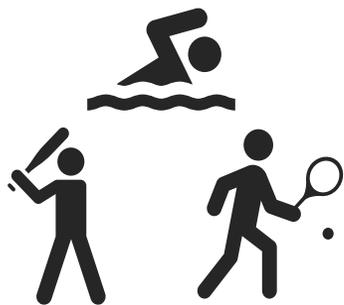
当社から紹介したスポーツ人財一人ひとりが、入社後の
企業で活躍することが、スポーツの価値を高める

*スポーツに打ち込んだ経験を通じて社会・企業が求める高い価値を身につけた人財
新卒者においては、現役体育会学生、大学スポーツサークル・高校部活・クラブチーム等での競技経験者
既卒者においては、体育会出身者及び現役アスリートも含めたスポーツに打ち込んだ経験を持つ社会人

ビジネスモデル

- 付加価値の源泉は求職者とアナログの関係で結ばれた太いパイプ
- 企業の採用活動において、採用ターゲットとなる要件を高い確率で満たしている「スポーツ人財」を対象にサービスを展開することで、顧客企業のニーズへ着実に対応

企業の採用基準を満たす
可能性が高い集団



スポーツ人財

ターゲット人財確保への強いニーズ



企業

- アナログの関係性を軸とした集客
- カウンセリングによる人財力の向上

- 大企業から中堅・中小企業まで幅広い顧客企業とのパイプと実績
- 基本動作のできる人財への強いニーズ

人財「メーカー」

- 当社に登録しているのは、スポーツを通じて高い価値を身に付けた、ダイヤモンドの原石のような人財
- 当社のきめ細やかな支援により、人財の価値を引き出し、また、価値を高め、社会へ輩出

人財「メーカー」の概念図

スポーツ人財



当社



人財がスポーツを通じて身に付けた価値（能力・素質・魅力）

その一方で

価値を他の分野に展開できない
スポーツ以外の進路が見出せない

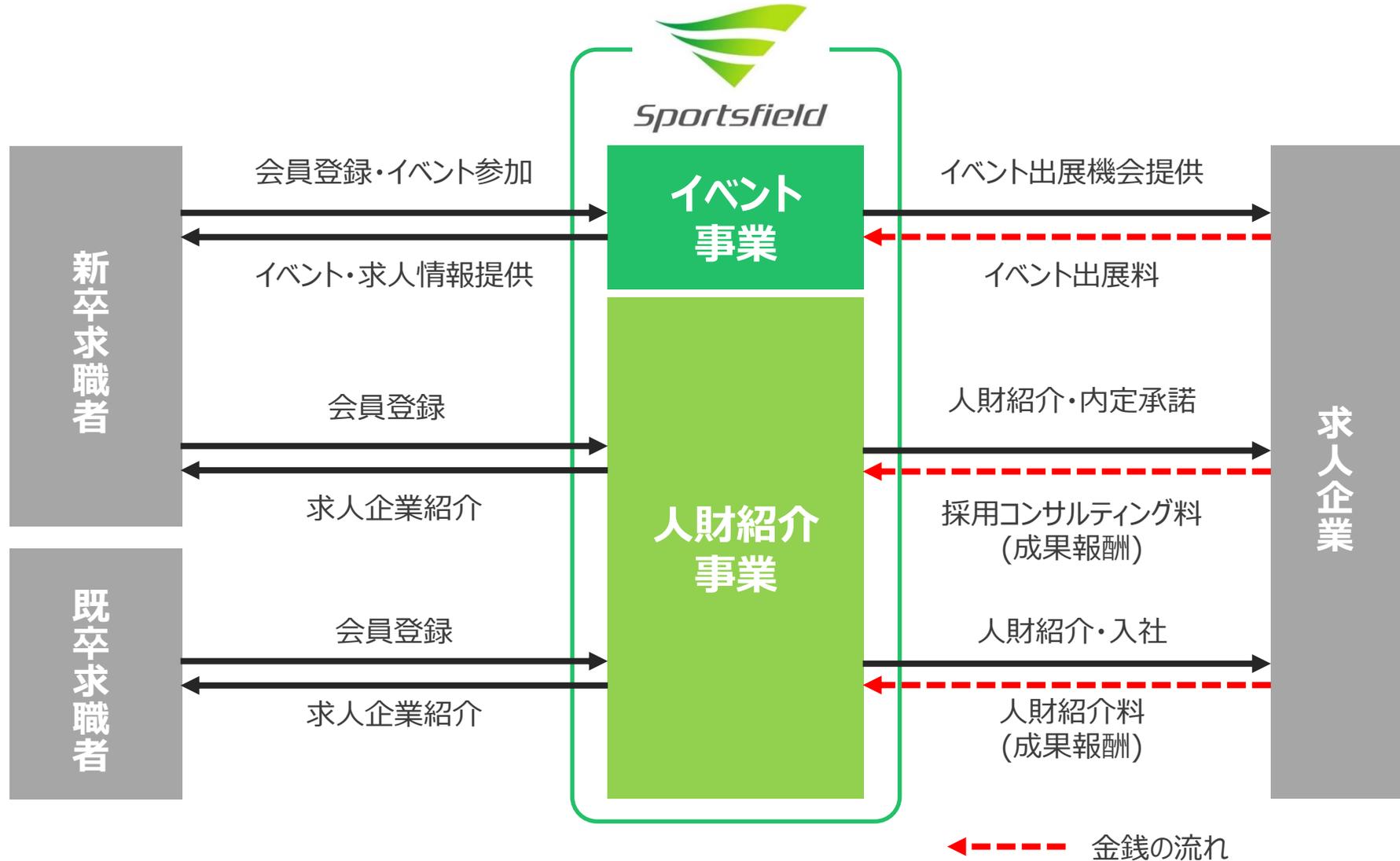
当社の面談を通じて、
人財の強みをビジネスで活かす「自己分析」、
ビジネスで通用する強みを身に付ける「自己成長」をサポート

- 支援体制
90%超が在学中に何らかの競技に打ち込んだスポーツ人財である社員を全国の拠点に配置

- 支援の濃さ
1 on 1 の濃い面談を複数回実施

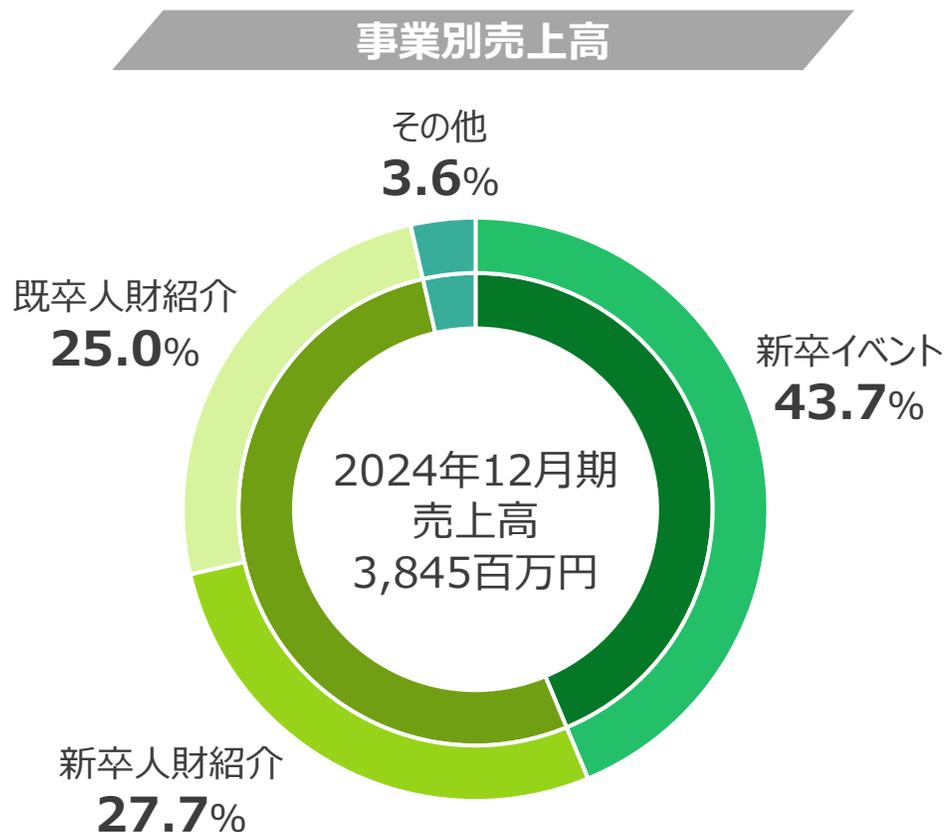
スポーツだけでなく、
ビジネスでも活躍する
「スポーツ人財」を
社会に輩出

ビジネスフロー



事業の内容

- 新卒者向けイベント事業、新卒者向け人財紹介事業、既卒者向け人財紹介事業が主要3事業
- イベントは「体育会学生」向けが中心で、イベント出展料が売上高の中核
- 人財紹介は、就職カウンセリングを実施のうえ、相手先企業に紹介するシステム。成果報酬として企業より採用コンサルティング料、人財紹介料を受領



新卒者向けイベント事業

- 体育会学生向けに全国でイベントを開催
- 出展企業からイベント出展料を受領

新卒者向け人財紹介事業

- スポナビ・スポチャレ登録者に対し、就職カウンセリングを実施し、就職先企業を紹介
- 内定承諾後、成果報酬として、企業より採用コンサルティング料を受領

既卒者向け人財紹介事業

- 既卒スポーツ人財（第二新卒含む）向けの就職カウンセリングと就職先企業の紹介
- 成果報酬として企業より人財紹介料を受領

その他事業

- アスリートの競技と就労を支援するデュアルキャリア事業
- スポーツ業界に特化した求人サイト「スポジョバ」

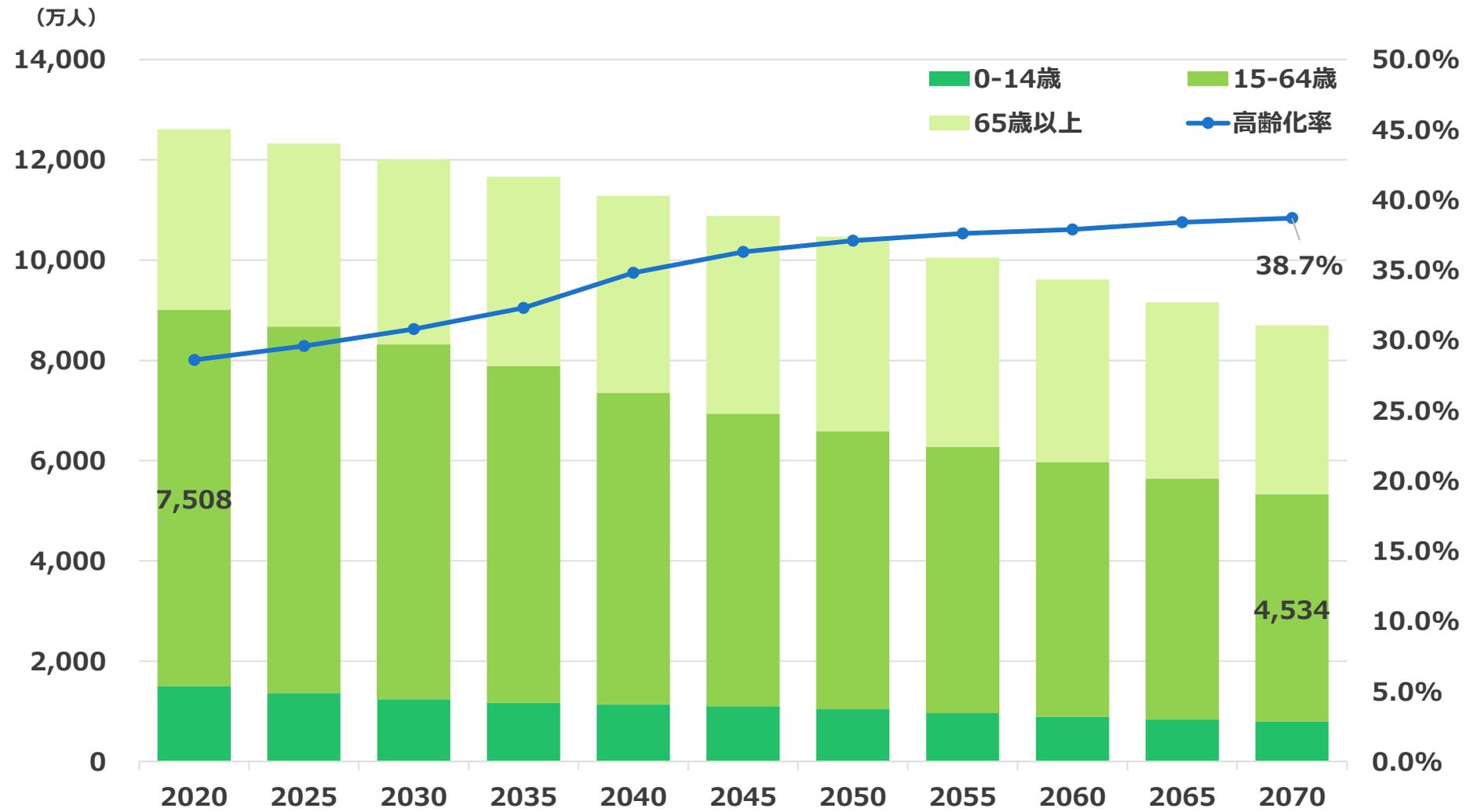
(注) 2024年12月期実績
返金負債繰入、売上戻り高等を含んでおります。

(参考) 新卒者向けイベント種別

	時期	解禁前		解禁後		
来場型	名称	キャリアセミナー	キャリアセミナー プラス	合同就職セミナー	合同就職 セミナープラス	就活セレクション
	内容	就職活動解禁前に、業界・仕事研究やインターンシップを知るためのイベント		多くの体育会学生と企業が一堂に会するイベント	人財・企業共に少数に限定し、学生がローテーションで全ての企業を回り、最後に交流会が設けられているイベント	人財・企業共に少数に限定し、食事会形式で親睦を深めてもらうイベント
	参加企業数	15～80社程度	6社程度	15～80社程度	6社までに限定	4社までに限定
オンライン型	名称	キャリアセミナー LIVE	キャリアセミナー プラスLIVE	合同就職セミナー LIVE	合同就職 セミナープラス LIVE	
	参加企業数	15社程度	6社程度	15社程度	6社までに限定	

日本の将来推計人口と高齢化率

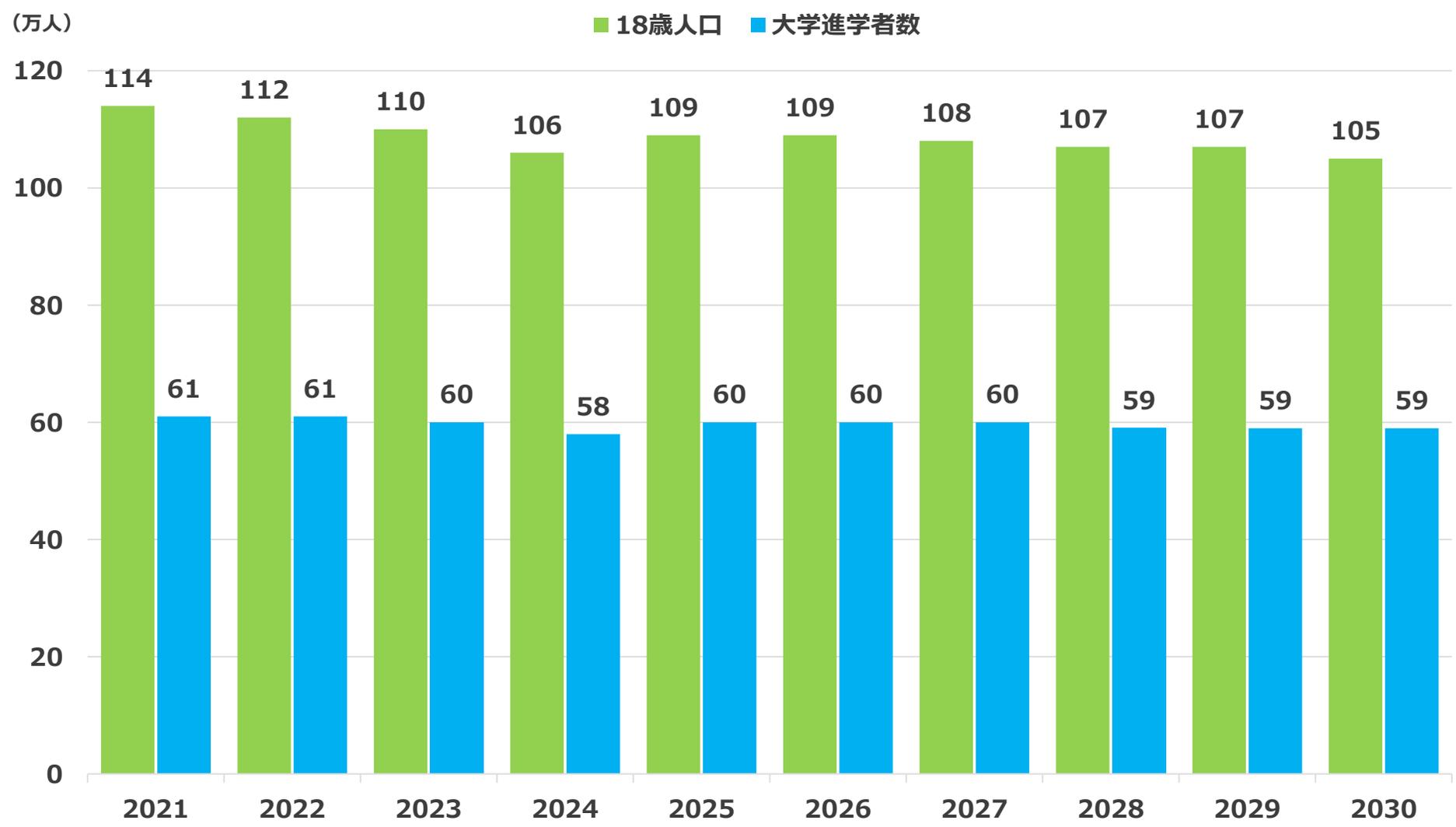
- 人口推計によれば生産年齢人口（15～64歳）は2070年に4,534万人まで減少し、高齢化率は38.7%となる
- 少子高齢化とそれに伴う働き手不足が深刻化する中、特に若年労働者は希少性が年々高まっていく貴重な存在



出所：*国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（令和5年推計）報告書」
出生中位（死亡中位）推計

18歳人口と大学進学者数の将来推計

■ 18歳人口は減少傾向が続くものの、大学進学者数の将来推計は2030年まで堅調に推移する見込み

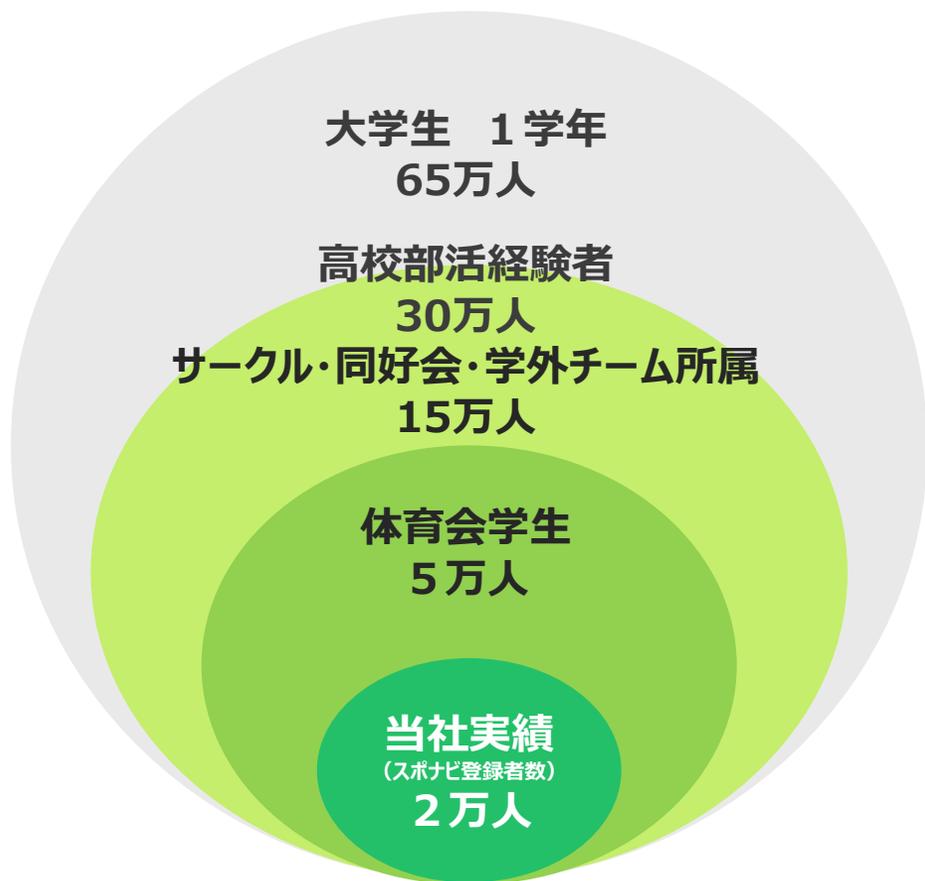


出所：*文部科学省「2040年を見据えた高等教育の課題と方向性について」

(参考) 当社主要事業における市場規模 (人財)

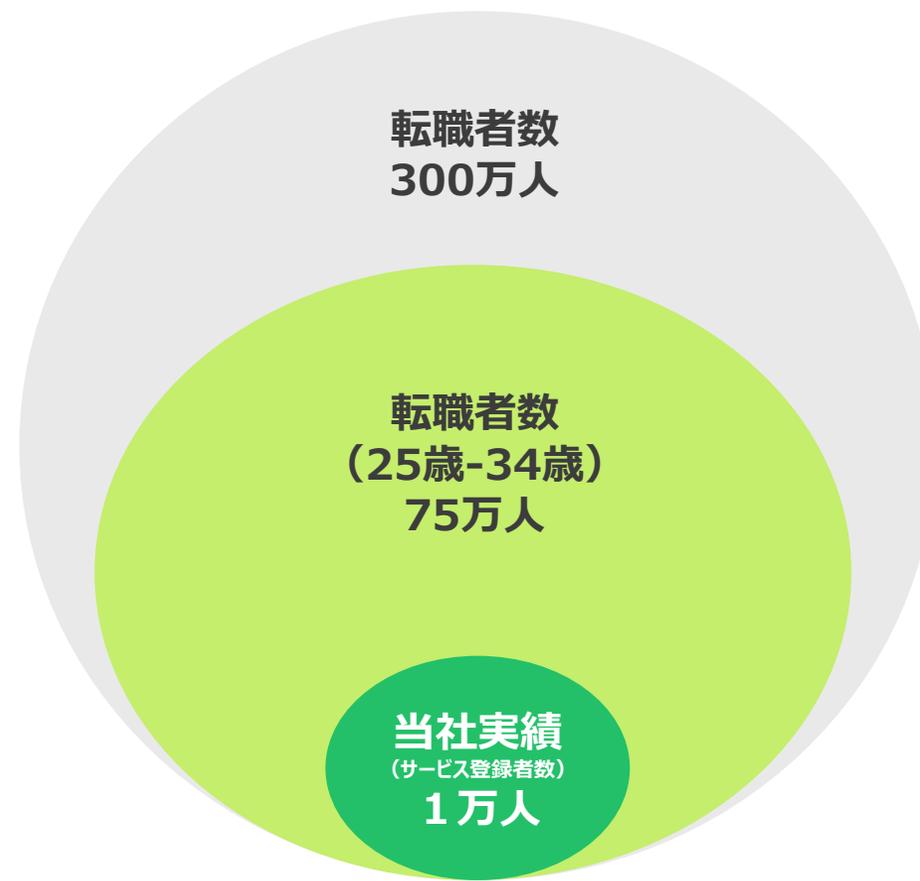
- 全国の大学生 1 学年の人数は65万人で、うちスポーツ人財は 1 学年15~30万人、体育会学生は 1 学年 5 万人と推計される
- 転職者数は年間300万人で、当社サービスのボリューム層である若年層 (25歳-34歳)は75万人

新卒者向けイベント・人財紹介事業



出所：*文部科学省「学校基本調査」2019年度（学部生のみ）
*笹川スポーツ財団 2019年 子ども・青少年のスポーツライフ・データ

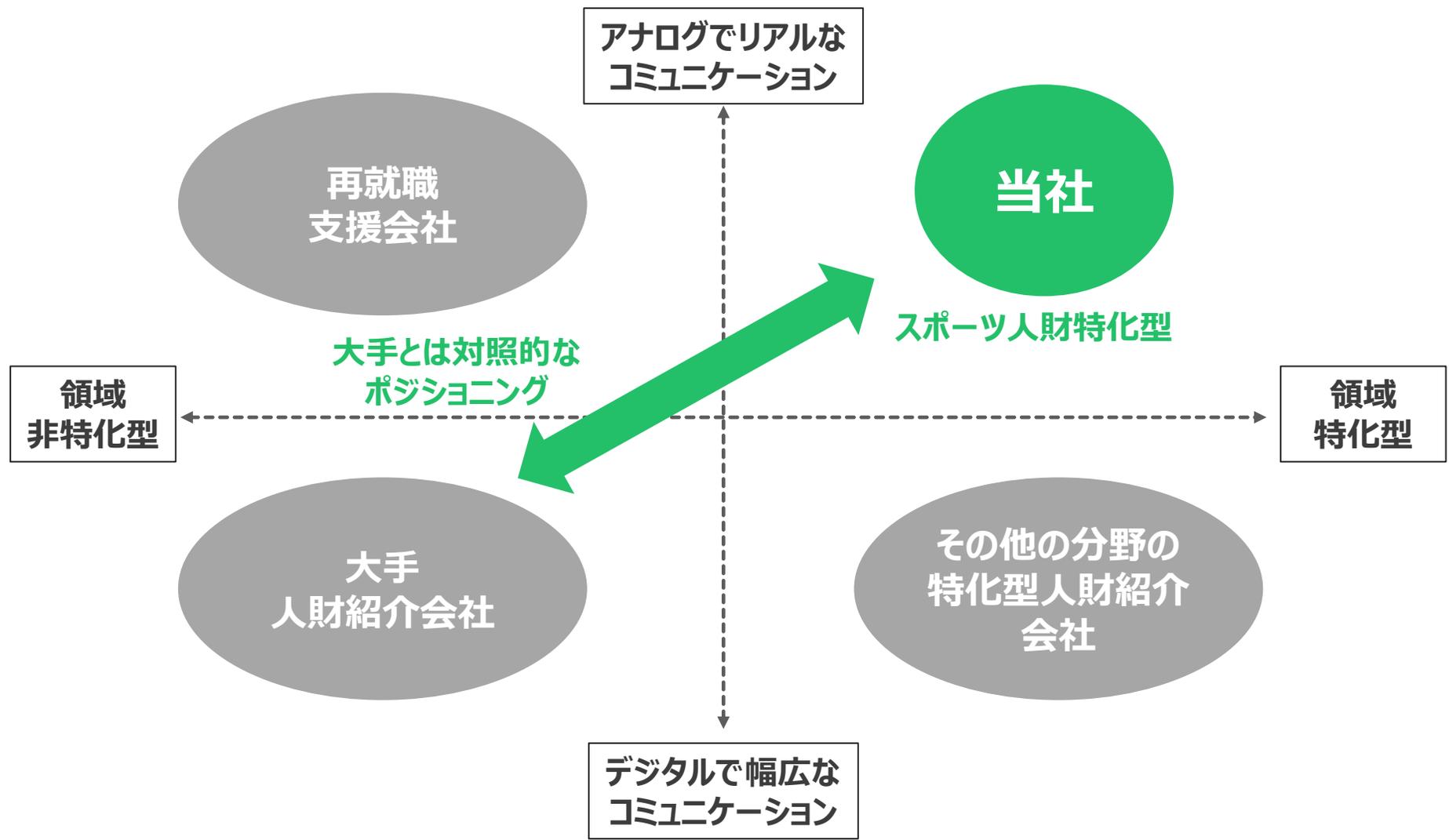
既卒者向け人財紹介事業



出所：*総務省「労働力調査（詳細集計） 2022年（令和4年）平均結果」
年齢階級別転職者数及び転職者比率

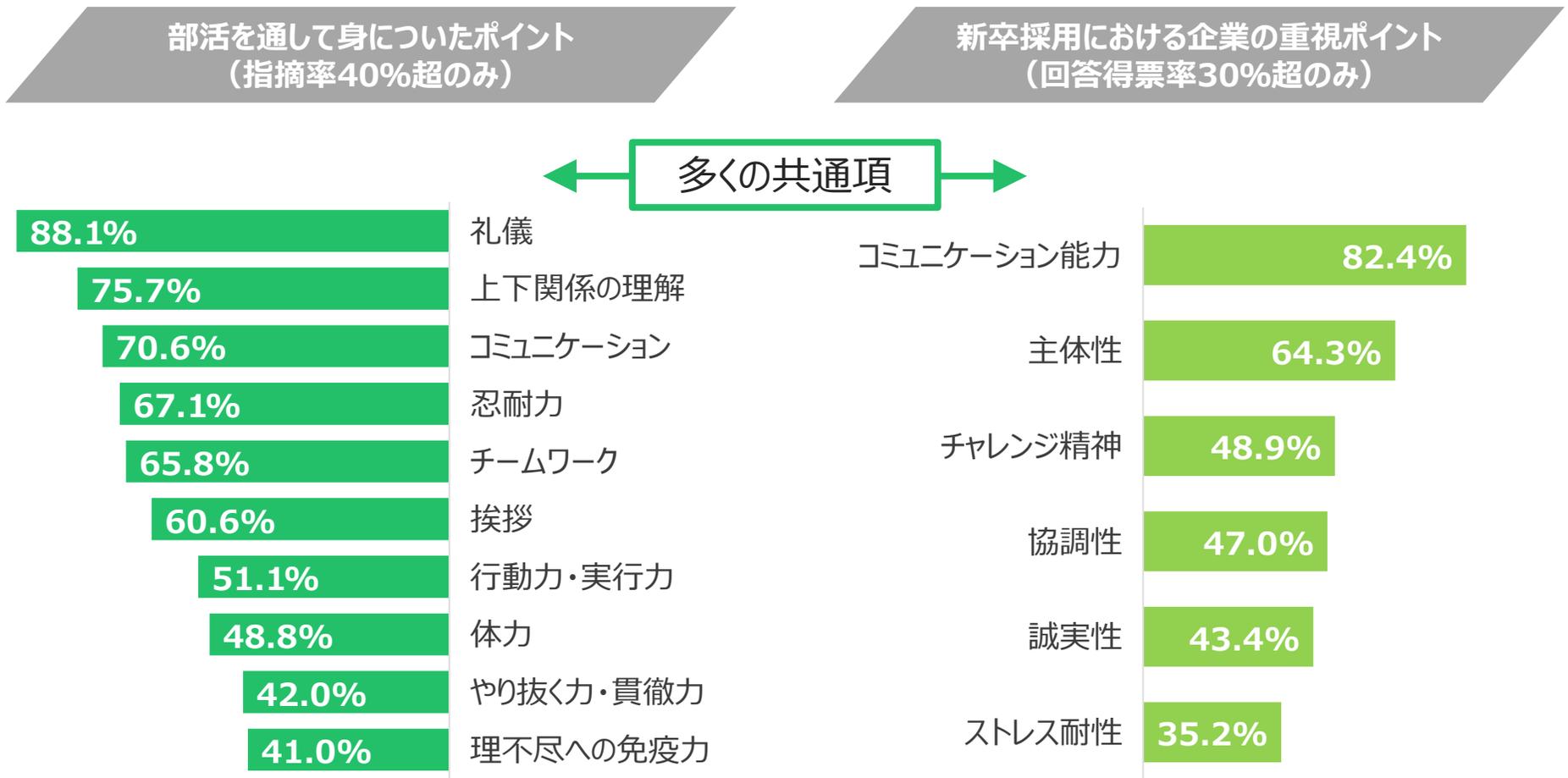
特徴と強み 独自のマーケット・ポジション

- デジタル化進行に伴い効率が重要視される中、当社同様に全国展開する同業は「広く浅く」を推進
- 一方、当社は敢えてスポーツ人財にターゲットを絞った「狭く深く」を志向



体育会学生の資質と就活

- 体育会学生が基本動作として備えるのは礼儀やコミュニケーション、忍耐力、チームワークなど
- 一方、企業が新卒採用に向けて重視する点は、コミュニケーション能力や協調性、誠実性、ストレス耐性など
- 両者には高い親和性があり、体育会学生への根強い人気に繋がっている公算大



出所：スポーツフィールド「体育会就職活動調査」2020卒・2021卒対象

出所：経団連 2018年度新卒採用に関するアンケート調査結果 20項目より5項目を選択回答

特徴と強み アナログの深い関係性

- 当社は若年層へのアプローチを重視。大学などでの講義開催により学生との距離を縮める仕掛けも
- 紹介など目に見える関係を皮切りに、頻繁なコミュニケーションを通じて信頼関係を構築



求職者アプローチタイミング	1～3年生より
求職者集客チャネル	口コミが中心
求職者へのコンタクト①	複数回の数時間に亘る 1 on 1 での内容の濃いアドバイスが基本
求職者へのコンタクト②	大学を頻度高く訪問（コロナの影響によりオンラインへ） キャリア形成に関する授業なども実施
求職者との距離感	相互感情移入できる程近い

アナログの深い関係性をベースに、
オンラインでも面談を重ねて親身なサポートを実施

特徴と強み アナログの深い関係性の背景

- 人財・企業を担当する営業社員の90%以上が在学中に何らかの競技に打ち込んだスポーツ人財
- 全役職員では、野球、サッカー等のメジャー競技のみならず、幅広い競技の経験者が在籍

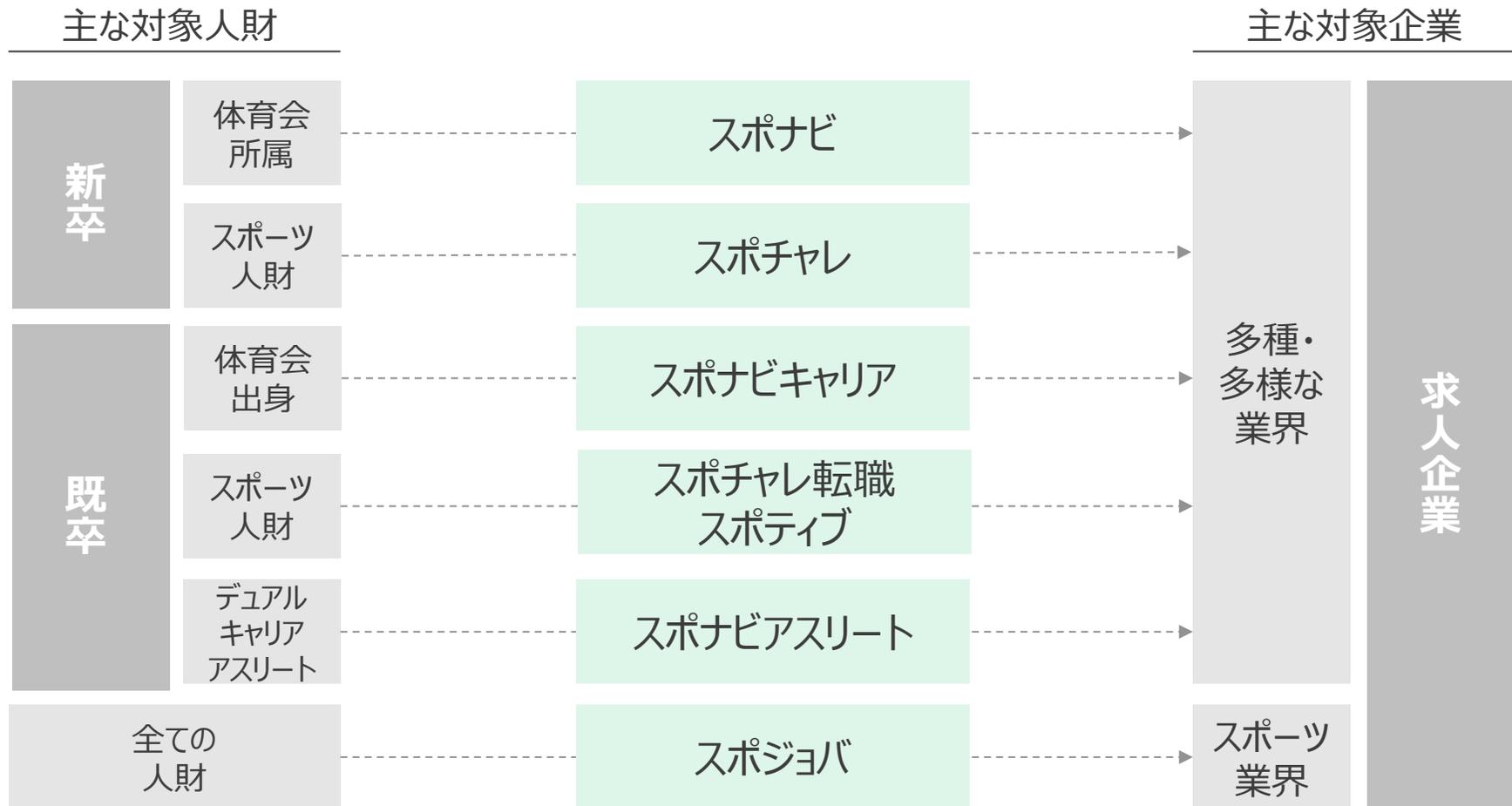
当社在籍社員の在学中の競技

球技			武道・格闘技		その他競技			その他
野球	サッカー	ラグビー	剣道	ボクシング	重量挙げ	陸上競技	体操	応援団
バレーボール	バスケットボール	アメリカンフットボール	キックボクシング	柔道	駅伝	水泳	バトントワリング	チアリーディング
ハンドボール	硬式テニス	ソフトテニス	日本拳法	レスリング	スケート	新体操	スケルトン	トレーナーチーム
ラクロス	バドミントン	フットサル	空手道	少林寺拳法	自転車	スキー	フィギュアスケート	ダンス
水球	卓球	ビーチハンドボール	弓道		アーチェリー	カヌー	トライアスロン	
ビーチバレー	ソフトボール	アイスホッケー			アルティメット	ライフセービング		



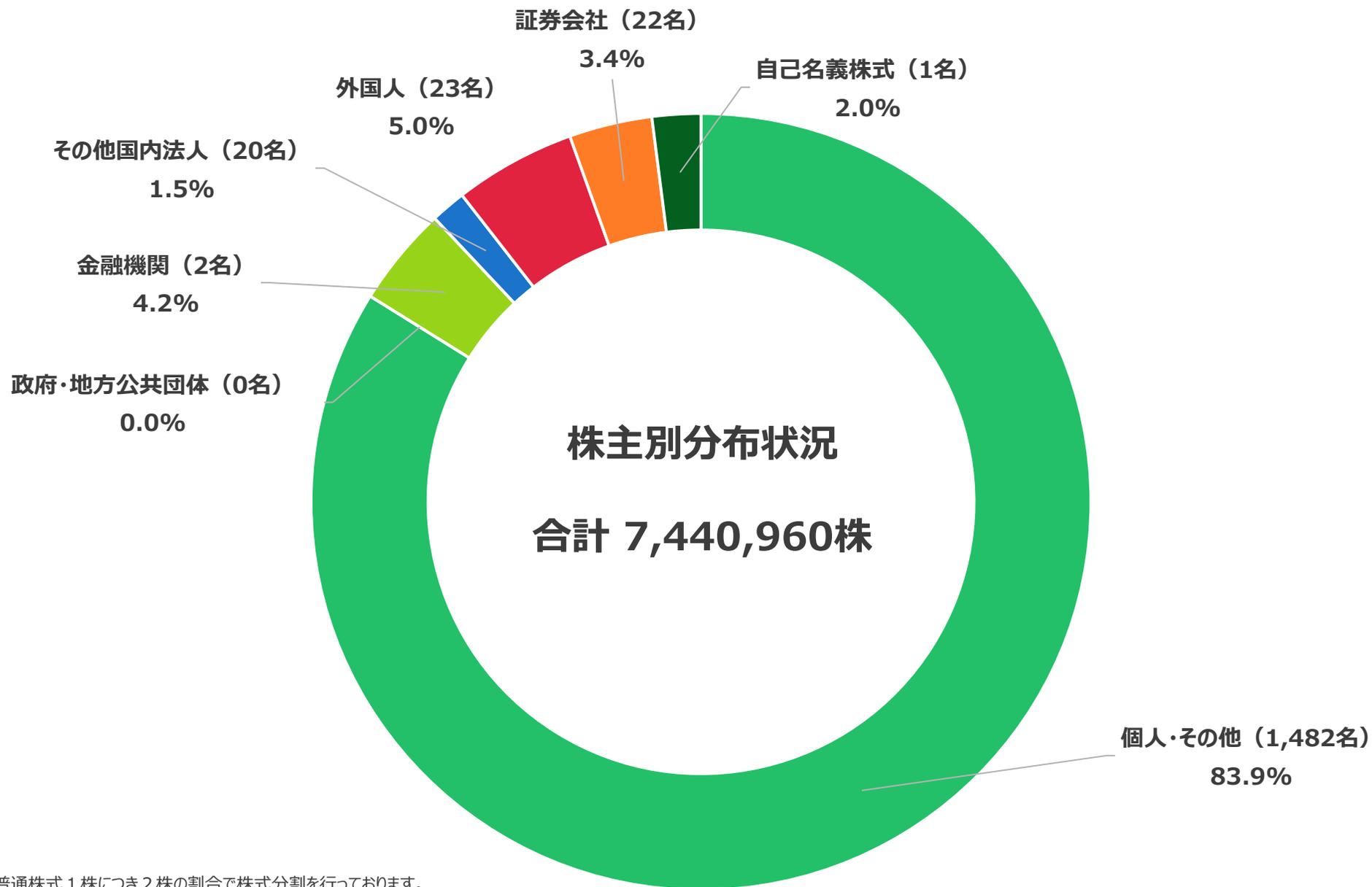
当社が運営するブランド

- 現役体育会学生、体育会出身者に特化したスポナビ、スポナビキャリア
- 大学運動サークル・高校部活・クラブチーム等での競技経験者を対象とするスポチャレ、スポチャレ転職
- 若手ハイキャリアを目指すスポーツ経験者を対象とするスポティブ
- 競技を継続する社会人（デュアルキャリアアスリート）を支援するスポナビアスリート
- スポーツ関連企業に特化した求人サイトスポジョバ



株主構成

2024年12月末時点



*2024年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。

年月	概要
2010年 1月	東京都渋谷区に株式会社スポーツリンク埼玉を設立（資本金1,000千円）
2011年 4月	株式会社スポーツリンク東日本へ商号変更
2013年10月	体育会総合支援ブランド「スポナビ」のサービスを開始
2014年 1月	第三者割当にて資本金10,000千円に増資
1月	株式会社スポーツフィールドへ商号変更
4月	有料職業紹介業についての厚生労働大臣許可を受ける
5月	転職支援サービス「スポナビキャリア」を開始
2016年 2月	第三者割当にて資本金10,300千円に増資
5月	東京都新宿区に子会社、株式会社エスエフプラス（現連結子会社）を設立
8月	労働者派遣業についての厚生労働大臣許可を受ける
11月	平成29年度東京都スポーツ推進企業として認定
2018年 1月	日本政府が推進するスポーツ国際貢献事業「SPORT FOR TOMORROW」に加盟
2019年12月	東証マザーズ市場（現グロース市場）上場 資本金92,680千円に増資
2020年 5月	求人メディアサイト「スポジョバ」事業の取得
2020年 9月	スポーツ経験者のための新卒者向け就職支援サービス「スポチャレ」を開始
2021年 3月	スポーツ経験者のための既卒者向け転職支援サービス「スポチャレ転職」を開始
2022年 9月	若手ハイキャリアを目指すスポーツ経験者のための転職支援サービス「スポティブ」を開始

財務ハイライト

決算年月		2017年12月	2018年12月	2019年12月	2020年12月	2021年12月	2022年12月	2023年12月	2024年12月
売上高	千円	1,106,727	1,516,370	1,917,813	1,883,269	2,130,256	2,866,214	3,418,218	3,845,234
経常利益	千円	60,171	113,916	192,045	32,016	▲35,298	634,239	869,134	872,058
当期純利益	千円	41,031	72,809	132,965	17,055	▲79,133	412,318	608,172	595,295
資本金	千円	10,300	10,300	92,680	92,712	92,869	93,079	93,513	93,650
発行済 株式総数	普通株式 A種株式 株	20,000 400	20,400 -	881,600 -	882,560 -	897,400 -	1,808,080 -	3,681,440 -	7,440,960 -
純資産額	千円	59,396	132,205	429,932	446,826	368,007	780,524	1,389,498	1,763,601
総資産額	千円	418,961	735,377	1,106,275	1,488,182	1,540,544	2,127,327	2,310,947	2,707,672
1株当たり純資産額*1	円	9.10	20.25	60.96	63.29	51.27	107.94	188.74	241.89
1株当たり当期純利益*1	円	6.29	11.16	20.34	2.42	▲11.10	57.22	83.73	81.21
自己資本比率	%	14.2	18.0	38.9	30.0	23.9	36.7	60.1	65.1
自己資本利益率	%	100.6	76.0	47.3	3.9	▲19.4	71.8	56.1	37.8
営業キャッシュフロー	千円	108,208	82,994	198,181	▲88,974	53,789	609,537	448,887	619,303
投資キャッシュフロー	千円	▲32,962	▲75,085	▲24,984	▲32,077	▲67,943	▲7,100	▲68,115	▲49,659
財務キャッシュフロー	千円	▲82,366	191,526	149,891	396,399	18,139	▲120,077	▲371,385	▲322,787
現金及び現金同等物の期末残高	千円	163,792	363,227	686,315	961,663	965,648	1,448,007	1,457,392	1,704,249
従業員数	名	118	164	201	233	266	242	272	297

*1：2019年10月4日付で普通株式1株につき40株、2022年7月1日付、2023年4月1日付、2024年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っておりますが、2017年12月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益を算出してあります。

(参考) 四半期別 連結損益計算書

(百万円)	2022年					2023年					2024年				
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
売上高	774	862	609	619	2,866	919	971	698	829	3,418	1,102	953	792	997	3,845
前年同期比増減率	39.1%	47.1%	21.8%	27.4%	34.5%	18.7%	12.7%	14.6%	33.8%	19.3%	19.9%	▲1.9%	13.5%	20.3%	12.5%
新卒者向けイベント	507	267	61	292	1,129	578	267	64	455	1,365	713	240	102	623	1,681
前年同期比増減率	35.7%	28.0%	▲2.4%	46.4%	33.5%	14.0%	0.2%	4.6%	55.6%	21.0%	23.3%	▲10.1%	60.0%	37.1%	23.1%
新卒者向け人財紹介	79	290	354	119	844	92	426	396	115	1,031	139	414	394	115	1,064
前年同期比増減率	41.5%	39.3%	22.9%	▲9.0%	23.3%	16.6%	46.7%	12.0%	▲3.1%	22.2%	50.5%	▲2.7%	▲0.6%	0.1%	3.2%
既卒者向け人財紹介	158	277	164	176	777	213	247	204	228	893	215	270	265	210	962
前年同期比増減率	50.1%	87.1%	30.0%	32.8%	51.3%	34.5%	▲10.9%	24.8%	28.9%	15.0%	1.1%	9.4%	29.4%	▲7.6%	7.7%
その他売上	28	26	29	31	115	34	30	32	30	126	32	27	30	46	136
前年同期比増減率	38.5%	30.1%	28.8%	38.9%	34.0%	19.9%	12.9%	9.3%	▲2.5%	9.5%	▲3.9%	▲10.2%	▲6.5%	54.6%	7.9%
売上原価	51	28	14	47	142	65	26	17	53	164	67	22	21	68	179
売上総利益	722	833	595	572	2,723	853	944	680	775	3,253	1,034	930	771	929	3,665
販売費一般管理費	490	531	525	539	2,086	538	631	595	618	2,384	631	764	688	707	2,791
売上高販管費率	63.3%	61.7%	86.2%	87.0%	72.8%	58.5%	65.0%	85.3%	74.6%	69.7%	57.3%	80.2%	86.9%	70.9%	72.6%
人件費	332	352	344	340	1,369	340	416	389	399	1,545	399	512	440	452	1,805
地代家賃	46	46	46	48	188	48	48	49	51	197	52	52	54	58	218
広告宣伝費	45	64	67	75	252	75	81	79	76	313	86	95	96	74	352
その他	65	68	67	75	276	74	85	76	90	327	93	103	96	121	415
営業利益	232	301	69	32	637	315	312	84	156	869	402	166	83	222	874
経常利益	231	301	68	31	634	314	312	84	156	869	402	165	82	221	872

ご留意事項

- 当資料は当社の業績及び経営戦略等に関する情報の提供を目的としており、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。
- 当資料に記載されている内容は、いくつかの前提に基づいたものであり、将来の計画数値や施策の実現を確約したり保証したりするものではありません。
- 当社の将来における事業内容や業績等は、様々な要因により実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があります。

IRライブラリ

- IRニュース
<https://www.sports-f.co.jp/ir/irnews/>
- IR資料・IR説明動画
<https://www.sports-f.co.jp/ir/library/>
- 役員プロフィール
<https://www.sports-f.co.jp/ir/executive/>

<お問い合わせ先>

株式会社スポーツフィールド
経営管理本部
ir@sports-f.co.jp